

2 大気環境の測定結果

(Monitoring Results for Environmental Air Quality)

大気測定項目 (Atmospheric Items)

二酸化窒素	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料などが燃焼するときなどに発生し、主な発生源は、工場・事業場のばい煙発生施設、自動車などである。 ・微小粒子状物質等の二次生成粒子の原因物質となる。
浮遊粒子状物質	<ul style="list-style-type: none"> ・大気中に浮遊している粒子状物質のうち、粒径が$10 \mu\text{m}$以下のものをいう。 ・主な発生源は、工場・事業場のばい煙発生施設、自動車等の人の活動に伴うもののほか、自然界(土壤の巻き上げ、海塩粒子、火山灰など)のものがある。
光化学オキシダント	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車や工場などから排出される窒素酸化物や揮発性有機化合物(VOC)が太陽から強い紫外線を受けて光化学反応を起こし、二次的に発生するものである。
二酸化硫黄	<ul style="list-style-type: none"> ・石油・石炭などの化石燃料に含まれる硫黄分が燃焼することによって発生するものである。 ・微小粒子状物質等の二次生成粒子の原因物質となる。
一酸化炭素	<ul style="list-style-type: none"> ・有機物の不完全燃焼の際に発生し、主な発生源は、自動車である。
炭化水素	<ul style="list-style-type: none"> ・揮発性有機化合物(VOC)の一種であり、窒素酸化物とともに光化学スモッグ及び微小粒子状物質等の二次生成粒子の原因物質となる。
微小粒子状物質	<ul style="list-style-type: none"> ・大気中に浮遊している粒子状物質のうち、粒径が$2.5 \mu\text{m}$以下のものをいう。 ・主な構成成分は、ディーゼル自動車等から排出される元素状炭素や、硫黄酸化物、窒素酸化物、揮発性有機化合物等のガス状物質が大気中で光化学反応等により粒子化する二次生成粒子(硫酸塩、硝酸塩、有機炭素等)などである。
酸性雨	<ul style="list-style-type: none"> ・工場・事業場や自動車等から排出される硫黄酸化物や窒素酸化物などの大気汚染物質が大気中で硫酸、硝酸等に変化し、これが雨に溶け込むことによって生じる。 ・一般に清浄な大気環境にある地域の雨水は、大気中の二酸化炭素が溶け込むことによりpH5.6程度になるといわれており、それよりも低いpHを示す雨を酸性雨と呼んでいる。

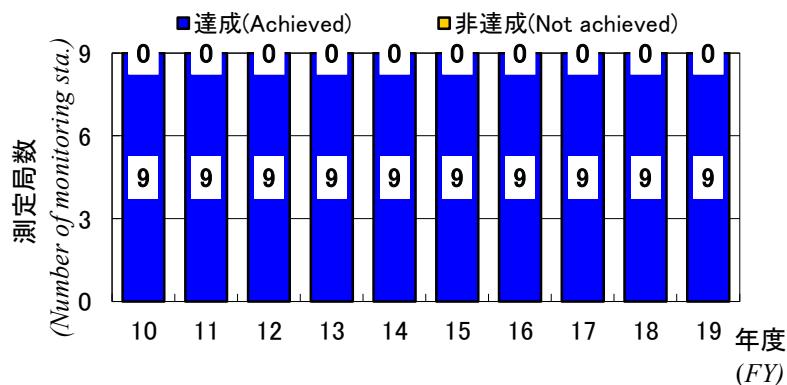
2-1 二酸化窒素 (NO_2 : Nitrogen Dioxide)

(1) 環境基準の達成状況 (Situation of Achievement for NO_2 Environmental Quality Standards; Hereafter "EQS" means Environmental Quality Standards)

一般局・自排局(計18局)の全局で環境基準を達成した。

【一般局】

表1-1及び図1-1に示すとおり、9局全局で環境基準を達成した。環境基準の全局達成は2003年度以降継続している。



二酸化窒素の環境基準達成状況:一般局

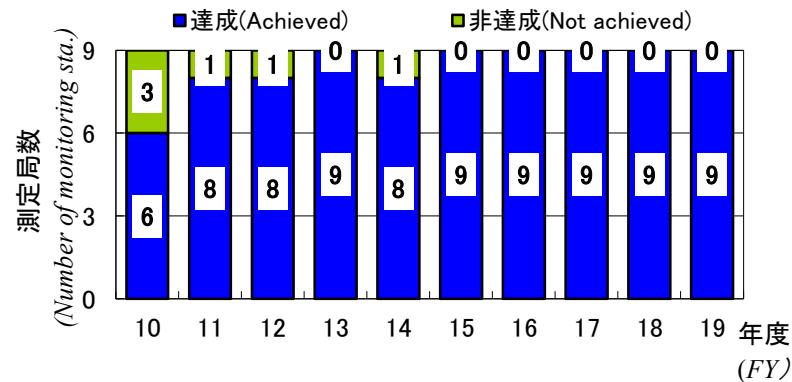
(Situation of Achievement for NO_2 EQS: General sta.)

<図1-1>

【自排局】

表1-1及び図1-2に示すとおり、9局全局で環境基準を達成した。

環境基準の達成局数は、2007年度以降は6割以上の測定局で環境基準を達成しており、2011年度、2012年度及び2014年度は池上を除き達成している。



二酸化窒素の環境基準達成状況:自排局

(Situation of Achievement for NO_2 EQS: Roadside sta.)

<図1-2>

表1-1 二酸化窒素(NO₂)の測定結果と評価
(Results of Measurement and Assessment for NO₂)

測定局 (Monitoring Station)		環境基準評価 (Assessment of EQS)		有効測定日数 (The number of Valid Monitoring Days)	環境基準値に適合した日数とその割合 ^{※3} (The Number of Days and Percentage which conformed to NO ₂ EQS)		環境基準値に適合しなかった日数とその割合 (The Number of Days and Percentage which did not conform to NO ₂ EQS)		環境目標値に適合した日数とその割合 ^{※4} (The Number of Days and Percentage that conformed to NO ₂ Environmental Target Value; Hereafter "the ETI" means the Environmental Target Values)		年平均値 (Annual Average)
		日平均値の年間98%値 ^{※1} (98% Value of Daily Average)	評価 ^{※2} (Assessment)		日 (Days)	%	日 (Days)	%	日 (Days)	%	
		ppm	○ ×	ppm	%	ppm	ppm	ppm	ppm	ppm	
一般局 (General sta.)	大師 (Daishi)	0.039	○	359	359	100	0	0	244	68.0	0.018
	田島 (Tajima)	0.039	○	363	363	100	0	0	259	71.3	0.018
	川崎 (Kawasaki)	0.035	○	359	359	100	0	0	250	69.6	0.018
	幸 (Saiwai)	0.036	○	351	351	100	0	0	269	76.6	0.016
	中原 (Nakahara)	0.036	○	361	361	100	0	0	285	78.9	0.015
	高津 (Takatsu)	0.033	○	361	361	100	0	0	298	82.5	0.015
	宮前 (Miyamae)	0.032	○	361	361	100	0	0	307	85.0	0.014
	多摩 (Tama)	0.027	○	357	357	100	0	0	320	89.6	0.012
	麻生 (Asao)	0.025	○	359	359	100	0	0	336	93.6	0.010
自排局 (Roadside sta.)	池上 (Ikegami)	0.053	○	353	352	99.7	1	0.3	74	21.0	0.030
	日進町 (Nissincho)	0.037	○	345	345	100	0	0	222	64.3	0.019
	市役所前 (Shiyakushomae)	0.038	○	327	327	100	0	0	192	58.7	0.020
	遠藤町 (Endohcho)	0.046	○	338	338	100	0	0	91	26.9	0.026
	中原平和公園 (Nakaharaheiwakouen)	0.036	○	362	362	100	0	0	273	75.4	0.016
	二子 (Futago)	0.045	○	357	357	100	0	0	70	19.6	0.028
	宮前平駅前 (Miyamaedairaekimae)	0.036	○	359	359	100	0	0	237	66.0	0.018
	本村橋 (Honmurabashi)	0.031	○	361	361	100	0	0	291	80.6	0.016
	柿生 (Kakio)	0.029	○	363	363	100	0	0	305	84.0	0.015

※1 日平均値の年間98%値: 年間の1日平均値の低い方から98%に相当する値。

※2 環境基準の評価: 日平均値の年間98%値が0.06ppm以下の場合を環境基準の「達成」と評価し、○で表示した。

: 日平均値の年間98%値が0.06ppm超過の場合を環境基準の「非達成」と評価し、×で表示した。

※3 環境基準値に適合した日数: 有効測定日数から、日平均値が0.06ppmを超えた日数を引いた日数とした。

※4 環境目標値に適合した日数: 有効測定日数から、日平均値が0.02ppmを超えた日数を引いた日数とした。

(2) 年平均値と日平均値の年間98%値の推移(過去10年間) (Trend of Annual Average and 98% Value of Daily Average NO₂ Concentration (The Last Ten Years))

【一般局】

年平均値(測定した全局平均)は、図1-3に示すとおり0.015ppmで、前年度より0.001ppm減少した。

また、日平均値の年間98%値(測定した全局平均)は、図1-4に示すとおり0.034ppmで、前年度より0.006ppm減少した。

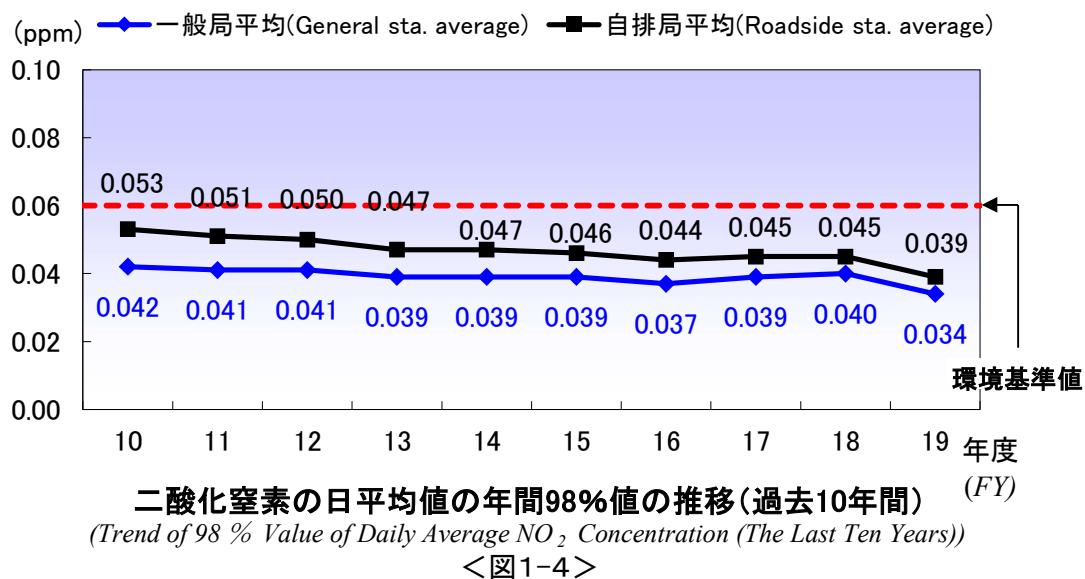
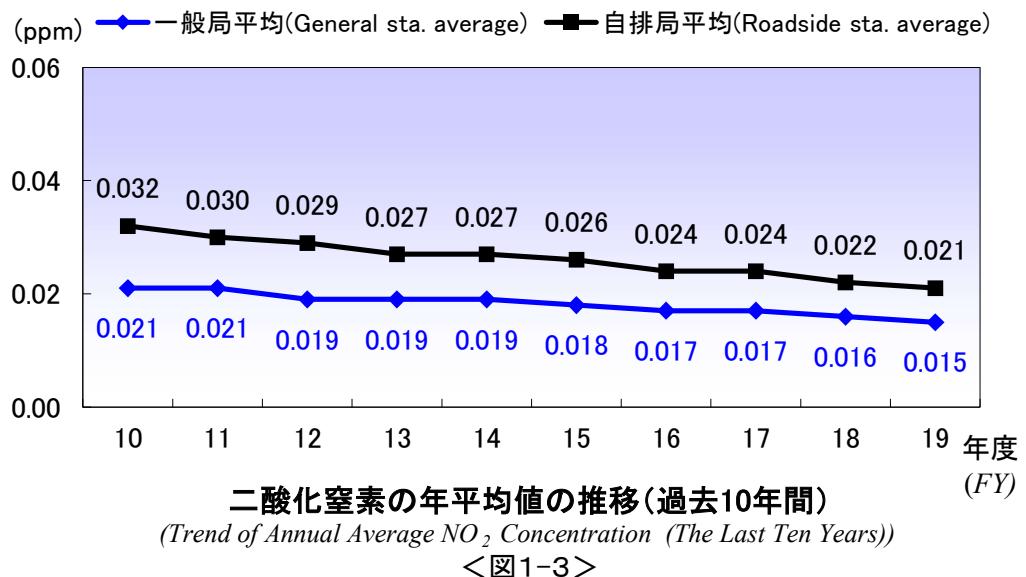
過去10年間で年平均値は減少傾向、日平均値の年間98%値はほぼ横ばいで、2019年は減少している。

【自排局】

年平均値(測定した全局平均)は、図1-3に示すとおり0.021ppmで、前年度より0.001ppm減少した。

また、日平均値の年間98%値(測定した全局平均)は、図1-4に示すとおり0.039ppmで、前年度より0.006ppm減少した。

過去10年間で年平均値、日平均値の年間98%値ともに減少傾向にある。



(3)環境基準値、環境目標値に適合した日数と割合 (*The Number of Days and Percentage that conformed to NO₂ EQS and NO₂ ETV*)

ア 環境基準値(日平均値:0.04ppm～0.06ppmのゾーン内又はそれ以下)に適合した日数と割合

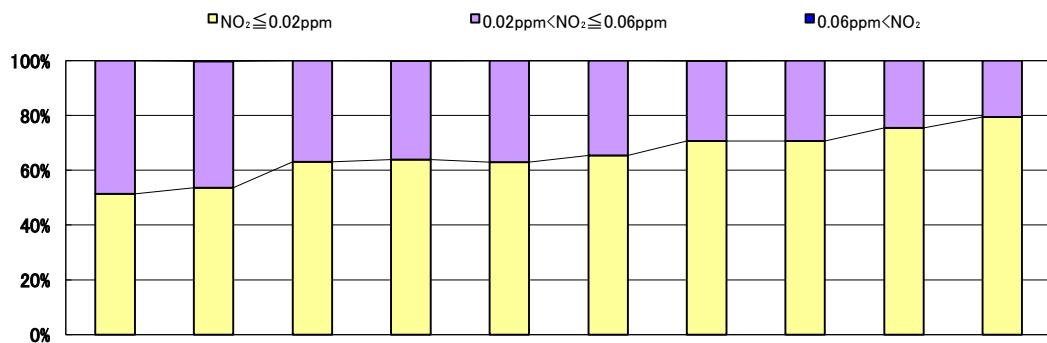
2010年度以降の日平均値が環境基準値に適合した日数とその割合は、図1-5及び図1-6のとおり、一般局は99%以上、自排局は98%以上で推移している。

2019年度の測定局ごとの状況は、図1-7及び図1-8のとおり、一般局では9局全局で100%、自排局では99.7%～100%であった。

イ 環境目標値(日平均値:0.02ppm以下)に適合した日数と割合

2010年度以降の日平均値が環境目標値に適合した日数とその割合は、図1-5及び図1-6のとおり、一般局・自排局ともに緩やかに増加しており、一般局は2012年度以降60%以上で推移し、2016年度以降は70%以上で推移している。自排局は2013年度以降30%以上で推移し、2016年度以降は40%以上で推移している。2019年度は一般局では79.5%、自排局では55.5%であった。

2019年度の測定局ごとの状況は、図1-7及び図1-8のとおり、一般局では68.0%～93.6%、自排局では19.6%～84.0%であった。



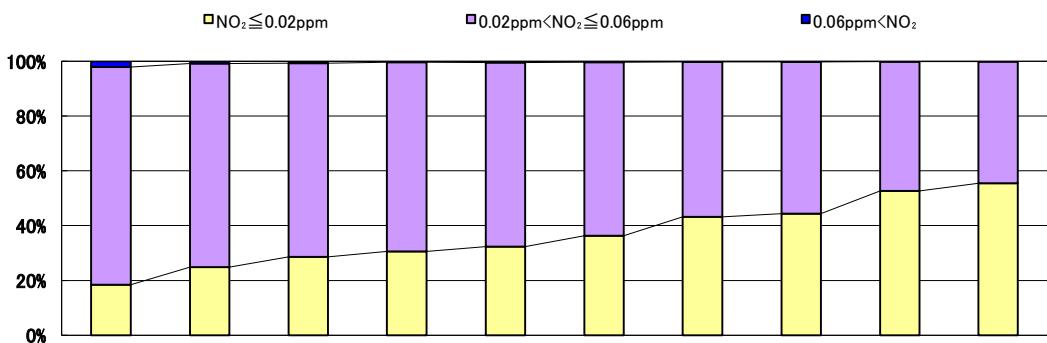
年度(FY)		10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0.06 ppm < NO ₂	日数(days)	0	6	0	4	0	0	2	0	0	0
	割合(%)	0	0.2	0	0.1	0	0	0.1	0	0	0
NO ₂ ≤ 0.06 ppm	日数(days)	3137	3143	3113	3117	3191	3243	3227	3200	3210	3231
	割合(%)	100	99.8	100	99.9	100	100	99.9	100	100	100
内訳	0.02 ppm < NO ₂ ≤ 0.06 ppm	1525	1454	1148	1119	1181	1120	942	936	786	663
	割合(%)	48.6	46.2	36.9	35.9	37.0	34.5	29.2	29.3	24.5	20.5
	NO ₂ ≤ 0.02 ppm	1612	1689	1965	1998	2010	2123	2285	2264	2424	2568
	割合(%)	51.4	53.6	63.1	64.0	63.0	65.5	70.8	70.8	75.5	79.5

注)環境基準、環境目標値に適合した日数(又は超過日数)は、各局の有効測定日数のうち環境基準、環境目標値を達成した日数(又は超過日数)を9局分足し合わせたものである。

一般局の二酸化窒素の日平均値の濃度分布の推移(過去10年間)

(Trend of Daily Average NO₂ Concentration: General sta. (The Last Ten Years))

<図1-5>



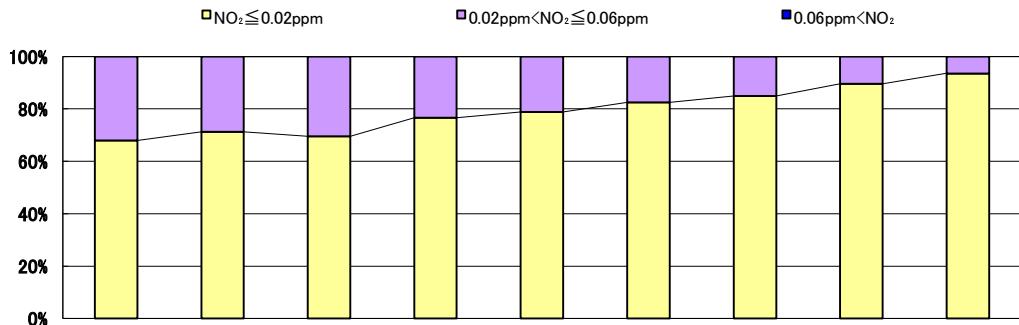
年度(FY)		10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0.06 ppm < NO ₂	日数(days)	64	26	23	11	13	9	7	5	3	1
	割合(%)	2.0	0.8	0.7	0.3	0.4	0.3	0.2	0.2	0.1	0.03
NO ₂ ≤ 0.06 ppm	日数(days)	3120	3139	3132	3143	3184	3239	3205	3239	3205	3165
	割合(%)	98.0	99.2	99.3	99.7	99.6	99.7	99.8	99.8	99.9	99.97
内訳	0.02 ppm < NO ₂ ≤ 0.06 ppm	2532	2352	2229	2177	2147	2058	1815	1798	1513	1410
	割合(%)	79.5	74.3	70.6	69.0	67.2	63.4	56.5	55.4	47.2	44.5
	NO ₂ ≤ 0.02 ppm	588	787	903	966	1037	1181	1390	1441	1692	1755
	割合(%)	18.5	24.9	28.6	30.6	32.4	36.4	43.3	44.4	52.7	55.5

注)環境基準、環境目標値に適合した日数(又は超過日数)は、各局の有効測定日数のうち環境基準、環境目標値を達成した日数(又は超過日数)を9局分足し合わせたものである。

自排局の二酸化窒素の日平均値の濃度分布の推移(過去10年間)

(Trend of Daily Average NO₂ Concentration: Roadside sta. (The Last Ten Years))

<図1-6>

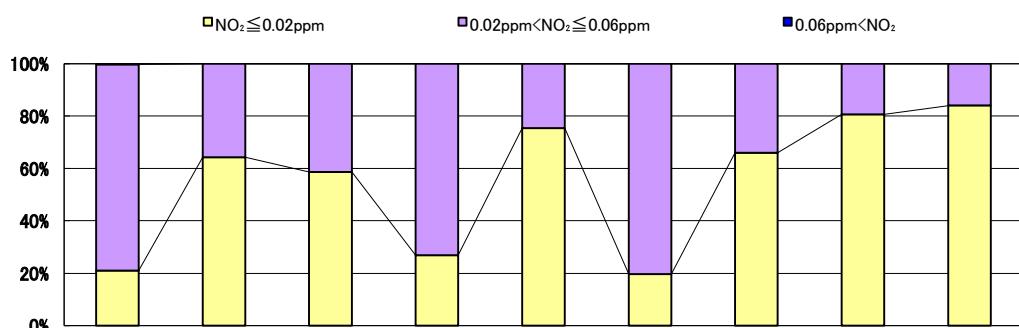


測定局 (Monitoring sta.)		大師 (Daishi)	田島 (Tajima)	川崎 (Kawasaki)	幸 (Saiwai)	中原 (Nakahara)	高津 (Takatsu)	宮前 (Miyamae)	多摩 (Tama)	麻生 (Asao)
0.06 ppm < NO ₂	日数 (days)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合 (%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NO ₂ ≤ 0.06 ppm	日数 (days)	359	363	359	351	361	361	361	357	359
	割合 (%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100
内訳	0.02 ppm < NO ₂ ≤ 0.06 ppm	115	104	109	82	76	63	54	37	23
	割合 (%)	32.0	28.7	30.4	23.4	21.1	17.5	15.0	10.4	6.4
	NO ₂ ≤ 0.02 ppm	244	259	250	269	285	298	307	320	336
	割合 (%)	68.0	71.3	69.6	76.6	78.9	82.5	85.0	89.6	93.6

一般局の二酸化窒素の日平均値の濃度分布(2019年度)

(Distribution of Daily Average NO₂ Concentration: General sta. (FY 2019))

<図1-7>



測定局 (Monitoring sta.)		池上 (Ikegami)	日進町 (Nisshincho)	市役所前 (Shiyakusho-mae)	遠藤町 (Endohcho)	中原平和公園 (Nakahara-heiwakouen)	二子 (Futago)	宮前平駅前 (Miyamae-dairakimae)	本村橋 (Honmura-bashi)	柿生 (Kakio)
0.06 ppm < NO ₂	日数 (days)	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合 (%)	0.3	0	0	0	0	0	0	0	0
NO ₂ ≤ 0.06 ppm	日数 (days)	352	345	327	338	362	357	359	361	363
	割合 (%)	99.7	100	100	100	100	100	100	100	100
内訳	0.02 ppm < NO ₂ ≤ 0.06 ppm	278	123	135	247	89	287	122	70	58
	割合 (%)	78.8	35.7	41.3	73.1	24.6	80.4	34.0	19.4	16.0
	NO ₂ ≤ 0.02 ppm	74	222	192	91	273	70	237	291	305
	割合 (%)	21.0	64.3	58.7	26.9	75.4	19.6	66.0	80.6	84.0

自排局の二酸化窒素の日平均値の濃度分布(2019年度)

(Distribution of Daily Average NO₂ Concentration: Roadside sta. (FY 2019))

<図1-8>

(4) 年平均値と日平均値の年間98%値の経年変化 (A Long-Term Trend of Annual Average and 98% Value of Daily Average NO₂ Concentration.)

【一般局】

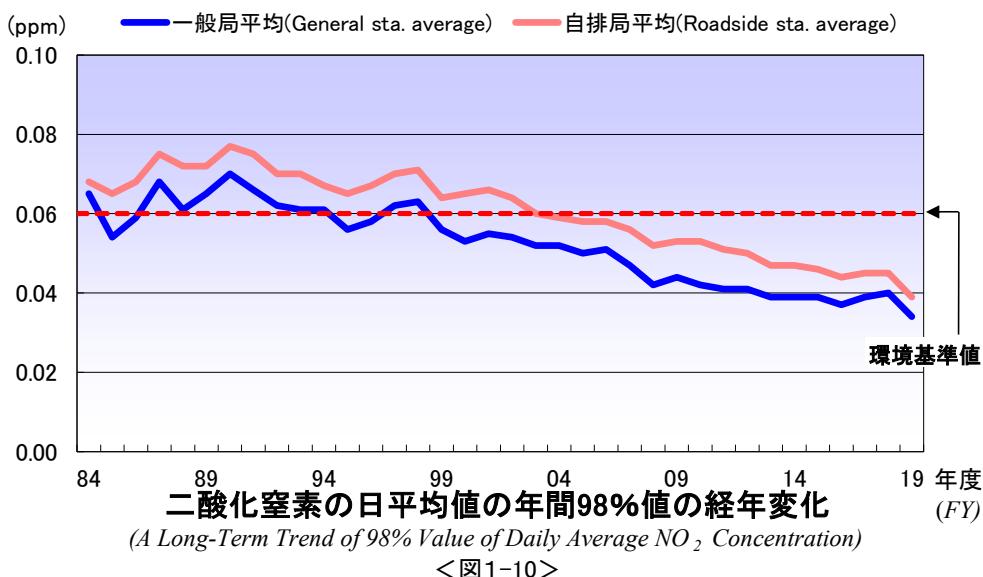
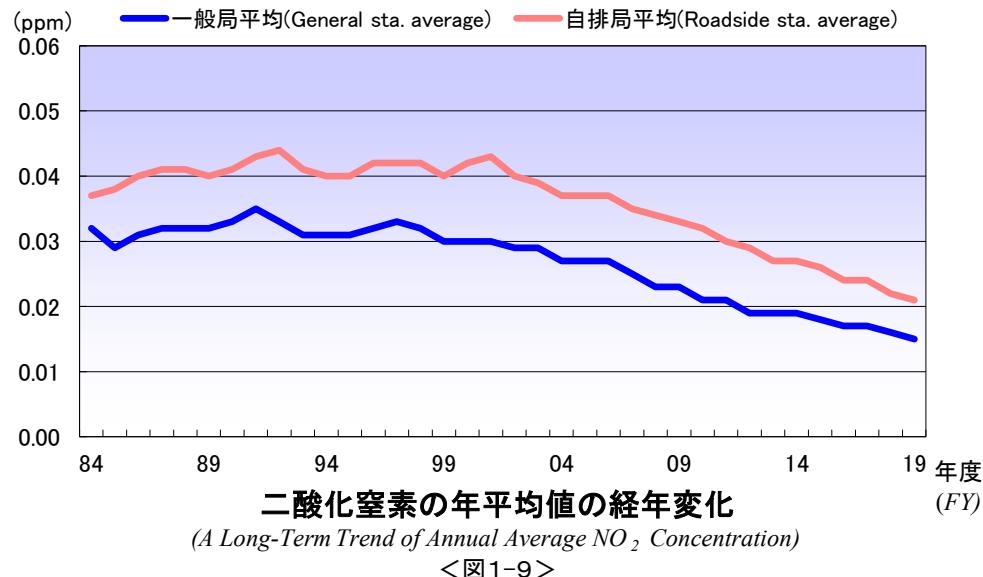
年平均値(測定した全局平均)は、表1-2及び図1-9に示すとおり1991年度に0.035 ppmで最大となり、以降は減少傾向が見られ、2019年度は0.015ppmで1991年度と比べて57%減少した。

また、日平均値の年間98%値(測定した全局平均)は、表1-4及び図1-10に示すとおり1990年度に0.070ppmで最大となり、以降は減少傾向が見られ、2019年度は0.034 ppmで1990年度と比べて51%減少した。

【自排局】

年平均値(測定した全局平均)は、表1-3及び図1-9に示すとおり1992年度に0.044 ppmで最大となり、2001年度以降は減少傾向が見られ、2019年度は0.021ppmで1992年度と比べて52%減少した。

また、日平均値の年間98%値(測定した全局平均)は、表1-5及び図1-10に示すとおり1990年度に0.077ppmで最大となり、以降は減少傾向が見られ、2019年度は0.039 ppmで1990年度と比べて49%減少した。



注) 1978年度から1983年度までの大師、川崎、幸、中原の4測定局のデータは、測定機の問題により参考値であるため、上記グラフには当該年度のデータを除外してあります。

2-2 浮遊粒子状物質 (SPM : Suspended Particulate Matter)

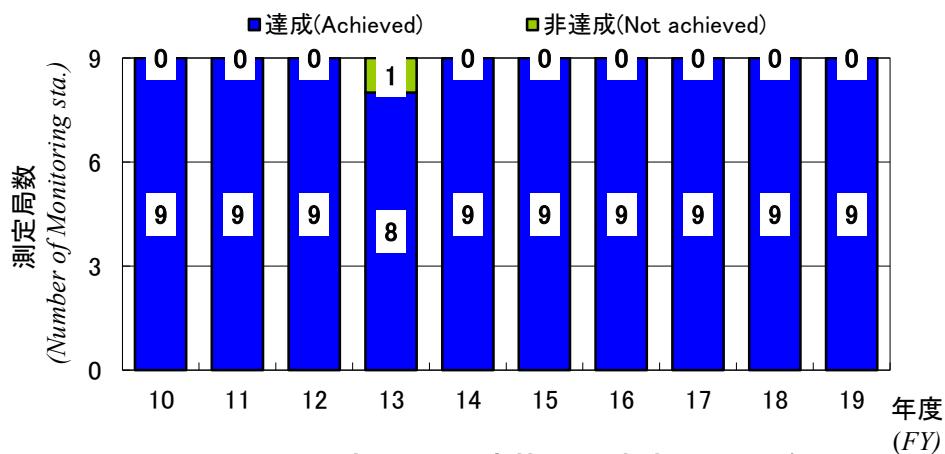
(1) 環境基準の達成状況 (Situation of Achievement for SPM EQS)

<長期的評価>

一般局・自排局(計18局)の全局で環境基準を達成した。

【一般局】

表2-1及び図2-1に示すとおり、9局全局で環境基準を達成した。



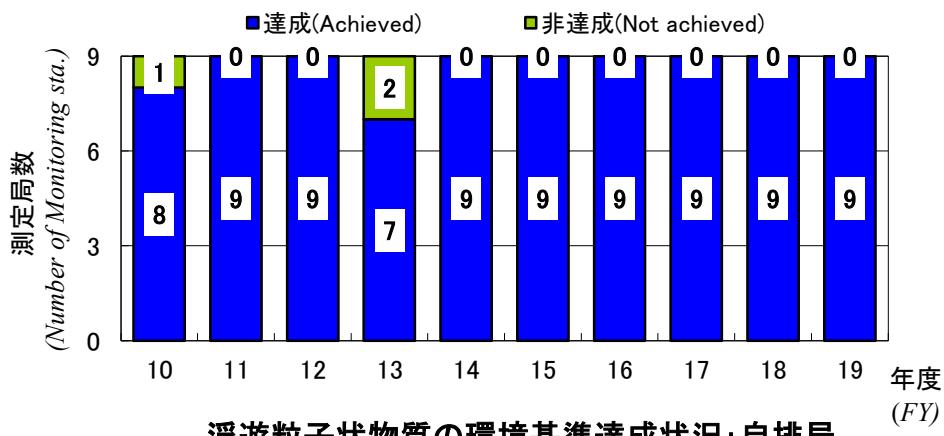
浮遊粒子状物質の環境基準の達成状況:一般局

(Situation of Achievement for SPM EQS:General sta.)

<図2-1>

【自排局】

表2-1及び図2-2に示すとおり、9局全局で環境基準を達成した。



浮遊粒子状物質の環境基準達成状況:自排局

(Situation of Achievement for SPM EQS:Roadside sta.)

<図2-2>

<短期的評価>

一般局・自排局(計18局)の全局で環境基準を達成した。

表2-1 浮遊粒子状物質(SPM)の測定結果と評価
(Results of Measurement and Assessment for SPM)

測定局 (Monitoring Station)		環境基準評価 (Assessment of EQS)								有効測定日数 (The number of Valid Monitoring Days)	環境基準値に適合した日数とその割合※4 (The Number of Days and Percentage that conformed to SPM EQS)	日平均値が環境目標値に適合した日数とその割合※5 (The Number and Percentage of days that conformed to SPM ETV)	年平均値 (Annual Average)				
		長期的評価 (Long-term Assessment)			短期的評価 (Short-term Assessment)												
		日平均値の2%除外値 (2%-excluded Value of Daily Average)	日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた日が2日以上連続の有無とその回数 (Presence or absence of times when the Value of Daily Average SPM Concentration was $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ or above for two or more consecutive days, and the number of such occurrences)	評価※2 (Assessment)	1時間値が $0.20\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた時間数とその割合 (The Number and Percentage of Hours during which the 1-hour Value was above $0.20\text{mg}/\text{m}^3$)	日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた日数とその割合 (The Number and Percentage of Days during which the Daily Average was above $0.10\text{mg}/\text{m}^3$)	評価※3 (Assessment)										
		mg/m ³	有無	回 (times)	○ ×	時間 (hours)	%	日 (days)	%	○ ×	日 (days)	日 (days)	%	日 (days)	%	mg/m ³	
一般局 (General sta.)	大師 (Daishi)	0.038	無	0	○	0	0	0	0	○	360	360	100	360	100	0.015	
	田島 (Tajima)	0.043	無	0	○	0	0	0	0	○	362	362	100	362	100	0.017	
	川崎 (Kawasaki)	0.042	無	0	○	0	0	0	0	○	355	355	100	355	100	0.014	
	幸 (Sawai)	0.039	無	0	○	0	0	0	0	○	344	344	100	344	100	0.015	
	中原 (Nakahara)	0.033	無	0	○	0	0	0	0	○	360	360	100	360	100	0.013	
	高津 (Takatsu)	0.038	無	0	○	0	0	0	0	○	360	360	100	360	100	0.015	
	宮前 (Miyamae)	0.038	無	0	○	0	0	0	0	○	357	357	100	357	100	0.014	
	多摩 (Tama)	0.030	無	0	○	0	0	0	0	○	357	357	100	357	100	0.011	
	麻生 (Asao)	0.036	無	0	○	0	0	0	0	○	360	360	100	360	100	0.013	
自排局 (Roadside sta.)	池上 (Ikegami)	0.045	無	0	○	0	0	0	0	○	358	358	100	358	100	0.018	
	日進町 (Nissincho)	0.036	無	0	○	0	0	0	0	○	347	347	100	347	100	0.013	
	市役所前 (Shiyakushomae)	0.041	無	0	○	0	0	0	0	○	342	342	100	342	100	0.017	
	遠藤町 (Endohcho)	0.033	無	0	○	0	0	0	0	○	357	357	100	357	100	0.014	
	中原平和公園 (Nakaharahaheiwakouen)	0.043	無	0	○	0	0	0	0	○	362	362	100	362	100	0.015	
	二子 (Futago)	0.031	無	0	○	0	0	0	0	○	361	361	100	361	100	0.014	
	宮前平駅前 (Miyamaedairaekimae)	0.038	無	0	○	0	0	0	0	○	361	361	100	361	100	0.016	
	本村橋 (Honmurasabashi)	0.041	無	0	○	0	0	0	0	○	364	364	100	364	100	0.016	
	柿生 (Kakio)	0.041	無	0	○	0	0	0	0	○	361	361	100	361	100	0.014	

※1 日平均値の2%除外値：年間の1日平均値の高い方から2%除外した値。

※2 環境基準の長期的評価：次の①及び②の両方を達成した場合、「達成」と評価し、○で表示した。

①または②のどちらかを達成しなかった場合、「非達成」と評価し、×で表示した。

①日平均値の2%除外値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ 以下、②日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた日が2日以上連続しないこと。

※3 環境基準の短期的評価：次の①及び②の両方を達成した場合、「達成」と評価し、○で表示した。

①または②のどちらかを達成しなかった場合、「非達成」と評価し、×で表示した。

①1時間値が $0.20\text{mg}/\text{m}^3$ 以下、②日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ 以下。

※4 環境基準値に適合した日数：有効測定日数から、日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた日数と1時間値が $0.20\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた日数（ただし、日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた日と同一日は除く）を引いた日数とした。

※5 環境目標値に適合した日数：有効測定日数から、日平均値が $0.075\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた日数を引いた日数とした。

(2) 年平均値と日平均値の2%除外値の推移(過去10年間) (Trend of Annual Average and 2%-excluded Value of Daily Average SPM Concentration(The Last Ten Years))

【一般局】

年平均値(測定した全局平均)は、図2-3に示すとおり $0.014\text{mg}/\text{m}^3$ で、前年度より $0.002\text{mg}/\text{m}^3$ 減少した。

また、日平均値の2%除外値(測定した全局平均)は、図2-4に示すとおり $0.037\text{mg}/\text{m}^3$ で、前年度より $0.005\text{mg}/\text{m}^3$ 減少した。

年平均値、日平均値とともに、過去10年間で減少傾向にある。

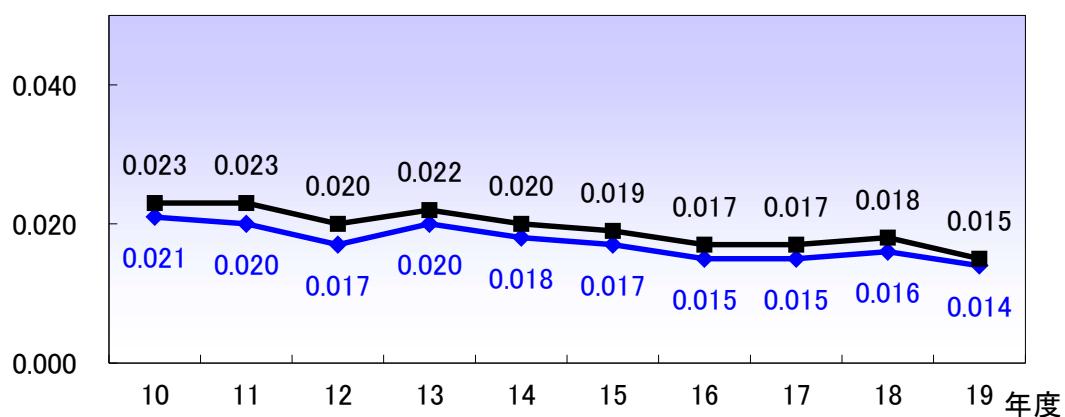
【自排局】

年平均値(測定した全局平均)は、図2-3に示すとおり $0.015\text{mg}/\text{m}^3$ で、前年度より $0.003\text{mg}/\text{m}^3$ 減少した。

また、日平均値の2%除外値(測定した全局平均)は、図2-4に示すとおり $0.039\text{mg}/\text{m}^3$ で、前年度より $0.005\text{mg}/\text{m}^3$ 減少した。

年平均値、日平均値とともに、過去10年間で減少傾向にある。

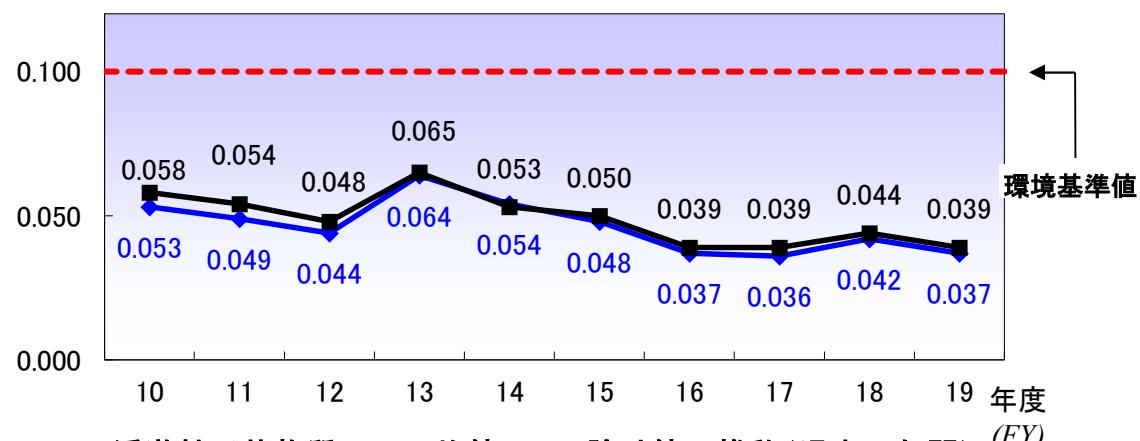
(mg/m^3) 一般局平均(General sta. average) 自排局平均(Roadside sta. average)



浮遊粒子状物質の年平均値の推移(過去10年間)
(Trend of Annual Average SPM Concentration (The Last Ten Years))

<図2-3>

(mg/m^3) 一般局平均(General sta. average) 自排局平均(Roadside sta. average)



浮遊粒子状物質の日平均値の2%除外値の推移(過去10年間)
(Trend of 2%-excluded Value of Daily Average SPM Concentration (The Last Ten Years))

<図2-4>

(3)環境基準値、環境目標値に適合した日数と割合 (*The Number and Percentage of days that conformed to SPM EQS and SPM ETV*)

ア 環境基準値(日平均値:0.10mg/m³以下、かつ、1時間値:0.20mg/m³以下)に適合した日数と割合

2010年度以降の日平均値が環境基準値に適合した日数とその割合は、表2-2及び表2-3のとおり、一般局・自排局ともに99%以上の割合で推移している。

2019年度の測定局ごとの状況は、表2-4及び表2-5のとおり、一般局・自排局ともに100%であった。

イ 環境目標値(日平均値、年平均値)に適合した日数と割合

2010年以降の日平均値(0.075mg/m³以下)に適合した日数とその割合は、表2-2及び表2-3のとおり、一般局・自排局ともに98%以上の割合で推移している。

2019年度の測定局ごとの状況は、表2-4及び表2-5のとおり、一般局・自排局ともに100%であった。

なお年平均値(0.0125mg/m³以下)に適合した割合は、表2-1のとおり、一般局では11.1%、自排局では0%であった。

表2-2 一般局の浮遊粒子状物質の日平均値の濃度分布の推移(過去10年間)

(*Trend of Distribution of Daily Average SPM Concentration : General sta. (The Last Ten Years)*)

年度(FY)		10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0.1mg/m ³ <SPM(日平均値) 又は 0.2mg/m ³ <SPM(1時間値)	日数(days)	0	1	0	11	0	3	0	0	0	0
	割合(%)	0	0.03	0	0.4	0	0.1	0	0	0	0
SPM(日平均値)≤0.1mg/m ³ かつ SPM(1時間値)≤0.2mg/m ³	日数(days)	3141	3114	3202	3097	3216	3224	3244	3208	3188	3215
	割合(%)	100	99.97	100	99.6	100	99.9	100	100	100	100
内訳	0.075mg/m ³ <SPM≤ 0.1mg/m ³	日数(days)	7	8	1	26	4	3	0	0	0
		割合(%)	0.2	0.3	0.03	0.8	0.1	0.1	0	0	0
	SPM≤0.075mg/m ³	日数(days)	3134	3106	3201	3071	3212	3222	3244	3208	3188
		割合(%)	99.8	99.7	99.97	98.9	99.9	99.8	100	100	100

注)環境基準、環境目標値に適合日数(又は超過日数)は、各局の有効測定日数のうち環境基準、環境目標値を達成した日数(又は超過日数)を9局分足し合わせたものである。

表2-3 自排局の浮遊粒子状物質の日平均値の濃度分布の推移(過去10年間)

(*Trend of Daily Average SPM Concentration: Roadside sta. (The Last Ten Years)*)

年度(FY)		10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0.1mg/m ³ <SPM(日平均値) 又は 0.2mg/m ³ <SPM(1時間値)	日数(days)	5	1	2	13	0	1	0	0	1	0
	割合(%)	0.2	0.03	0.1	0.4	0	0.03	0	0	0.03	0
SPM(日平均値)≤0.1mg/m ³ かつ SPM(1時間値)≤0.2mg/m ³	日数(days)	3189	3137	3166	3081	3200	3249	3229	3229	3162	3213
	割合(%)	99.8	99.97	99.9	99.6	100	99.97	100	100	99.97	100
内訳	0.075mg/m ³ <SPM≤ 0.1mg/m ³	日数(days)	18	13	5	27	1	4	0	0	2
		割合(%)	0.6	0.4	0.2	0.9	0.03	0.1	0	0	0.1
	SPM≤0.075mg/m ³	日数(days)	3171	3124	3161	3054	3199	3245	3229	3229	3161
		割合(%)	99.3	99.6	99.8	98.7	99.97	99.9	100	100	99.9

注)環境基準、環境目標値に適合した日数(又は超過日数)は、各局の有効測定日数のうち環境基準、環境目標値を達成した日数(又は超過日数)を9局分足し合わせたものである。

表2-4 一般局の浮遊粒子状物質の日平均値の濃度分布(2019年度)
(Distribution of Daily Average SPM Concentration: General sta. (FY2019))

測定局 (Monitoring sta.)		大師 (Daishi)	田島 (Tajima)	川崎 (Kawasaki)	幸 (Saiwai)	中原 (Nakahara)	高津 (Takatsu)	宮前 (Miyamae)	多摩 (Tama)	麻生 (Asao)
0.1mg/m ³ < SPM(日平均値) 又は 0.2mg/m ³ < SPM(1時間値)	日数(days) 割合(%)	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
SPM(日平均値) ≤ 0.1mg/m ³ かつ SPM(1時間値) ≤ 0.2mg/m ³	日数(days) 割合(%)	360 100	362 100	355 100	344 100	360 100	360 100	357 100	357 100	360 100
内訳	0.075mg/m ³ < SPM ≤ 0.1mg/m ³	日数(days) 割合(%)	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
	SPM ≤ 0.075mg/m ³	日数(days) 割合(%)	360 100	362 100	355 100	344 100	360 100	360 100	357 100	357 100

表2-5 自排局の浮遊粒子状物質の日平均値の濃度分布(2019年度)
(Distribution of Daily Average SPM Concentration: Roadsides sta. (FY2019))

測定局 (Monitoring sta.)		池上 (Ikegami)	日進町 (Nisshincho)	市役所前 (Shiyakusho-mae)	遠藤町 (Endohcho)	中原平和公園 (Nakahara-heiwakouen)	二子 (Futago)	宮前平駅前 (Miyamae-dairaekimae)	本村橋 (Honnura-bashi)	柿生 (Kakio)
0.1mg/m ³ < SPM(日平均値) 又は 0.2mg/m ³ < SPM(1時間値)	日数(days) 割合(%)	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
SPM(日平均値) ≤ 0.1mg/m ³ かつ SPM(1時間値) ≤ 0.2mg/m ³	日数(days) 割合(%)	358 100	347 100	342 100	357 100	362 100	361 100	361 100	364 100	361 100
内訳	0.075mg/m ³ < SPM ≤ 0.1mg/m ³	日数(days) 割合(%)	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
	SPM ≤ 0.075mg/m ³	日数(days) 割合(%)	358 100	347 100	342 100	357 100	362 100	361 100	364 100	361 100

(4) 年平均値と日平均値の2%除外値の経年変化 (A Long-Term Trend of Annual Average and 2%-excluded Value of Daily Average SPM Concentration)

【一般局】

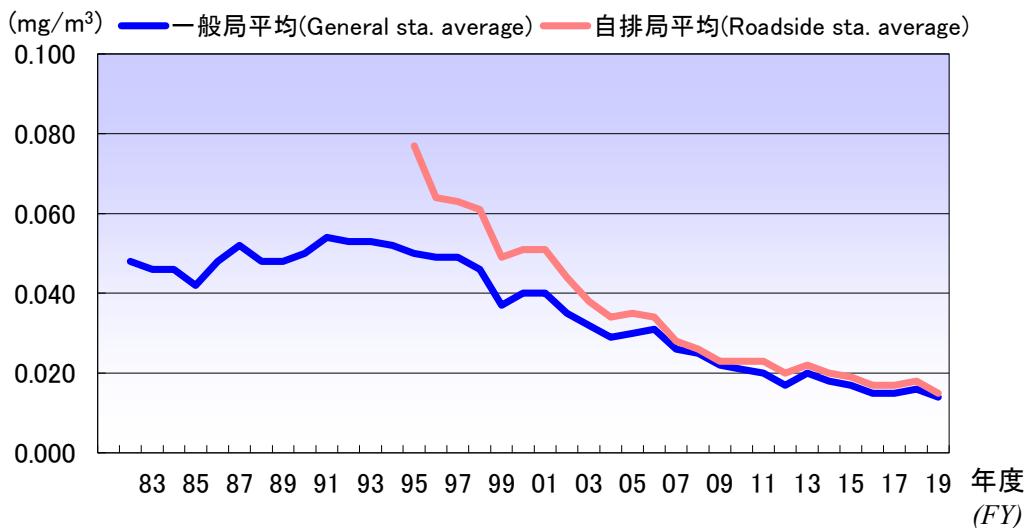
年平均値(測定した全局平均)は、表2-6及び図2-5に示すとおり1991年度に0.054mg/m³で最大となり、以降は減少傾向が見られ、2019年度は0.014mg/m³で1991年度と比べて74%減少した。

また、日平均値の2%除外値(測定した全局平均)は、表2-8及び図2-6に示すとおり1988年度に0.167mg/m³で最大となり、以降は減少傾向が見られ、2019年度は0.037mg/m³で1988年度と比べて78%減少した。

【自排局】

年平均値(測定した全局平均)は、表2-7及び図2-5に示すとおり測定を開始した1995年度が0.077mg/m³で最大となっており、以降は減少傾向が見られ、2019年度は0.015mg/m³で1995年度と比べて81%減少した。

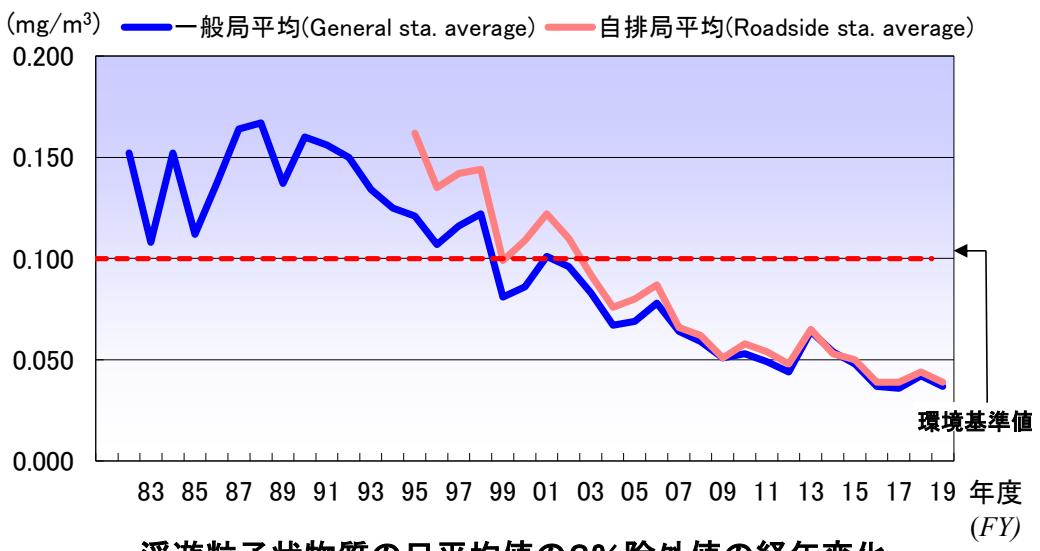
また、日平均値の2%除外値(測定した全局平均)は、表2-9及び図2-6に示すとおり1995年度に0.162mg/m³で最大となり、以降は減少傾向が見られ、2019年度は0.039mg/m³で1995年度と比べて76%減少した。



浮遊粒子状物質の年平均値の経年変化

(A Long-Term Trend of Annual Average SPM Concentration)

<図2-5>



浮遊粒子状物質の日平均値の2%除外値の経年変化

(A Long-Term Trend of 2%-excluded Value of Daily Average SPM Concentration)

<図2-6>

(参考資料)

表2-7 自排局の浮遊粒子状物質の年平均値の経年変化 (A Long-Term Trend of Concentration of Annual Average SPM Concentration:Roadside sta.)

	単位:mg/m ³																									
年度(FY)	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
自排局 (Roadside sta.)	池上 (Kegami)	0.077	0.073	0.074	0.071	0.061	0.064	0.063	0.050	0.040	0.039	0.039	0.042	0.031	0.030	0.028	0.031	0.027	0.023	0.026	0.024	0.022	0.020	0.021	0.022	0.018
	新川通 (Shinkawadori)	—	—	—	—	—	0.046	0.050	0.051	0.045	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	日進町 (Nishinicho)	—	—	—	—	—	—	—	—	0.035	0.030	0.032	0.031	0.026	0.025	0.023	0.022	0.022	0.020	0.022	0.020	0.018	0.014	0.014	0.015	0.013
	市役所前 (Shiyakushomae)	—	—	—	—	—	0.046	0.046	0.041	0.037	0.033	0.033	0.032	0.026	0.025	0.019	0.021	0.021	0.019	0.019	0.022	0.021	0.018	0.018	0.019	0.017
	遠藤町 (Endohcho)	—	—	—	—	—	0.058	0.057	0.049	0.043	0.037	0.036	0.037	0.028	0.027	0.021	0.021	0.021	0.020	0.021	0.020	0.017	0.015	0.015	0.016	0.014
	中原平和公園 (Nakaharareiwa-kouen)	—	0.054	0.058	0.052	0.039	0.043	0.041	0.041	0.036	0.032	0.033	0.031	0.027	0.025	0.023	0.023	0.024	0.022	0.022	0.020	0.021	0.018	0.017	0.018	0.015
	二子 (Futago)	—	—	—	0.065	0.055	0.058	0.061	0.051	0.045	0.038	0.039	0.037	0.029	0.028	0.027	0.025	0.027	0.023	0.025	0.019	0.017	0.015	0.015	0.016	0.014
	馬鯛 (Maginu)	—	—	—	—	—	0.047	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	宮前平駅前 (Miyamaedairakimae)	—	—	—	—	—	—	0.054	0.043	0.040	0.035	0.037	0.035	0.030	0.027	0.019	0.020	0.020	0.018	0.019	0.018	0.018	0.018	0.018	0.017	0.016
	本村橋 (Honmura-bashi)	—	—	0.058	0.054	0.043	0.046	0.045	0.038	0.033	0.031	0.032	0.030	0.026	0.024	0.021	0.022	0.023	0.021	0.022	0.022	0.019	0.018	0.019	0.016	0.016
	柿生 (Kakio)	—	—	—	—	0.049	0.048	0.045	0.041	0.037	0.033	0.032	0.032	0.027	0.025	0.023	0.021	0.020	0.017	0.021	0.019	0.019	0.016	0.016	0.016	0.014
自排局平均 (Average of Roadside sta.)		0.077	0.064	0.063	0.061	0.049	0.051	0.051	0.044	0.038	0.034	0.035	0.034	0.028	0.026	0.023	0.023	0.023	0.020	0.022	0.020	0.019	0.017	0.017	0.018	0.015

注1)遠藤町測定局は2000年4月に、市役所前測定局は2000年8月に採取口を車道方向へ延長した。

注2)柿生測定局は、2013年1月に道路工事のため測定局を奥に移動したが、2014年1月に元の位置に戻した。

(参考資料)

表2-9 自排局の浮遊粒子状物質の日平均値の2%除外値の経年変化 (A Long-Term Trend of 2%-excluded Value of Daily Average SPM Concentration:Roadside sta.)

		単位:mg/m ³																								
年度(FY)		95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
自排局 (Roadside sta.)	池上 (Ikegami)	0.162	0.144	0.155	0.165	0.120	0.125	0.169	0.115	0.094	0.082	0.087	0.105	0.069	0.066	0.063	0.093	0.067	0.057	0.079	0.063	0.061	0.048	0.053	0.059	0.045
	新川通 (Shinkawadori)	—	—	—	—	0.096	0.109	0.124	0.107	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	日進町 (Nissincho)	—	—	—	—	—	—	—	—	0.090	0.067	0.081	0.083	0.069	0.065	0.054	0.060	0.060	0.051	0.072	0.049	0.057	0.034	0.035	0.038	0.036
	市役所前 (Shiyakushomae)	—	—	—	—	—	0.101	0.119	0.103	0.095	0.074	0.075	0.077	0.062	0.061	0.048	0.051	0.050	0.045	0.052	0.054	0.053	0.040	0.042	0.046	0.041
	遠藤町 (Endohcho)	—	—	—	—	—	0.130	0.126	0.111	0.103	0.083	0.079	0.106	0.068	0.067	0.049	0.047	0.048	0.047	0.063	0.052	0.048	0.036	0.034	0.040	0.033
	中原平和公園 (Nakaharareiwaikouen)	—	0.125	0.146	0.142	0.085	0.098	0.095	0.112	0.091	0.077	0.080	0.081	0.063	0.057	0.052	0.057	0.059	0.048	0.062	0.060	0.059	0.040	0.043	0.044	0.043
	二子 (Futago)	—	—	—	0.144	0.106	0.114	0.135	0.120	0.095	0.080	0.085	0.090	0.061	0.057	0.054	0.058	0.057	0.052	0.078	0.048	0.041	0.035	0.033	0.036	0.031
	馬綱 (Maginu)	—	—	—	—	—	0.111	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	宮前平駅前 (Miyamaedairakimae)	—	—	—	—	—	—	0.129	0.116	0.099	0.080	0.083	0.095	0.072	0.067	0.044	0.046	0.044	0.040	0.050	0.049	0.042	0.040	0.037	0.041	0.038
	本村橋 (Honmuraibashi)	—	—	0.125	0.125	0.085	0.093	0.102	0.095	0.078	0.068	0.076	0.064	0.060	0.054	0.046	0.054	0.052	0.049	0.064	0.052	0.046	0.041	0.037	0.044	0.041
	柿生 (Kakio)	—	—	—	—	0.103	0.103	0.102	0.107	0.083	0.072	0.078	0.082	0.072	0.062	0.053	0.057	0.049	0.041	0.066	0.052	0.047	0.035	0.037	0.048	0.041
自排局平均 (Roadside sta. Average)		0.162	0.135	0.142	0.144	0.099	0.109	0.122	0.110	0.092	0.076	0.080	0.087	0.066	0.062	0.051	0.058	0.054	0.048	0.065	0.053	0.050	0.039	0.039	0.044	0.039

注1)遠藤町測定局は2000年4月に、市役所前測定局は2000年7月に採取口を車道方向へ延長した。

注2)柿生測定局は、2013年1月に道路工事のため測定局を奥に移動したが、2014年1月に元の位置に戻した。

2-3 光化学オキシダント (Ox : Photochemical Oxidant)

(1) 環境基準の達成状況 (Situation of Achievement for Ox EQS)

一般局9局で測定している。表3-1に示すとおり、9局で昼間(5時～20時)の1時間値が0.06ppmを超えたため、環境基準は全局非達成であった。

表3-1 光化学オキシダント(Ox)の測定結果と評価
(Measurement of Results and Assessment for Ox)

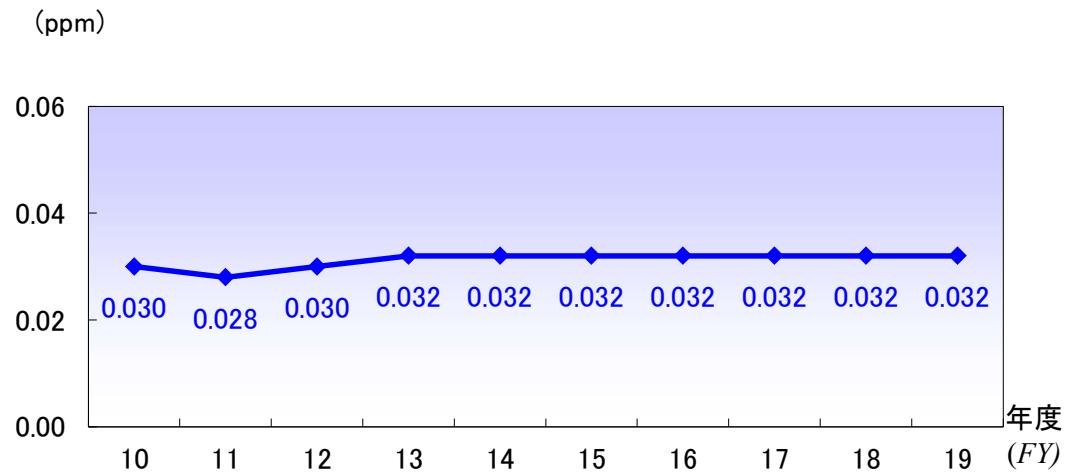
測定局 (Monitoring Station)	環境基準評価 (Assessment of EQS)		昼間の測定時間数 (The Number of Valid Monitoring Hours during the Daytime)	昼間に環境基準値に適合した時間数割合 ※2 (The Percentage of Hours during the Daytime that conformed to Ox EQS)	昼間の1時間値が0.12ppm以上の日数、時間数とその割合 (The number and percentage of hours and days in which 1-hour values during the daytime were 0.12ppm or above)				昼間の1時間値の最高値 (Maximum 1-hour Value of Ox during the Daytime)	昼間の年平均値 (Annual Average Ox Concentration during the Daytime)	
	昼間の1時間値が0.06ppmを超えた時間数とその割合 (The Number and Percentage of Hours during which the 1-hour Value was above 0.06ppm)	評価※1 (Assessment)			昼間の1時間値が0.12ppm以上の日数、時間数とその割合 (The number and percentage of hours and days in which 1-hour values during the daytime were 0.12ppm or above)						
	時間 (hours)	%	○ ×		時間 (hours)	%	日 (days)	%	時間 (hours)	%	
大師 (Daishi)	229	4.3	×	5320	95.7	3	0.8	6	0.1	0.150	0.030
田島 (Tajima)	169	3.1	×	5378	96.9	3	0.8	5	0.1	0.142	0.028
川崎 (Kawasaki)	171	3.2	×	5383	96.8	1	0.3	1	0.02	0.142	0.028
幸 (Saiwai)	294	5.6	×	5222	94.4	3	0.8	5	0.1	0.156	0.031
中原 (Nakahara)	342	6.4	×	5334	93.6	4	1.1	9	0.2	0.159	0.032
高津 (Takatsu)	412	7.7	×	5379	92.3	5	1.4	8	0.1	0.150	0.034
宮前 (Miyamae)	415	7.7	×	5378	92.3	6	1.6	7	0.1	0.151	0.034
多摩 (Tama)	457	8.5	×	5375	91.5	4	1.1	6	0.1	0.145	0.035
麻生 (Asao)	445	8.3	×	5366	91.7	0	0.0	0	0.0	0.119	0.035

※1 環境基準の評価：1時間値が全て0.06ppm以下であった場合、「達成」と評価し、○で表示、それ以外の場合は、「非達成」と評価し、×で表示した。

※2 昼間に環境基準値に適合した時間数割合：昼間の測定時間数から、1時間値が0.06ppmを超えた時間数を引いた時間数を、昼間の測定時間数で割ったものとした。

(2) 年平均値(測定した全局平均)の推移(過去10年間)
(Trend of Annual Average of Ox Concentration (The Last Ten Years))

昼間(5時～20時)の年平均値(測定した全局平均)は、図3-1に示すとおり0.032ppmで、前年度と同じ濃度であった。
過去10年間でほぼ横ばいに推移している。



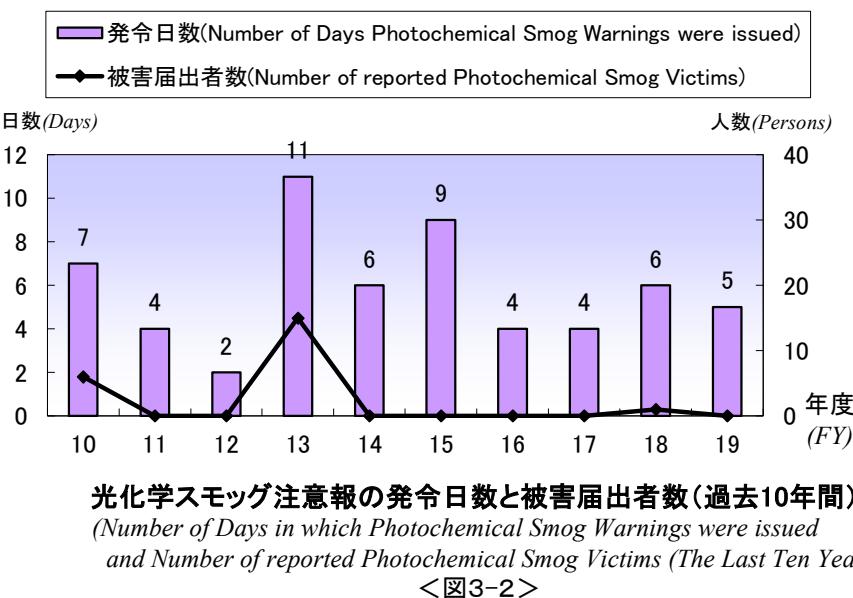
光化学オキシダントの昼間の年平均値の推移(過去10年間)
(Trend of Annual Average Ox Concentration during the Daytime (The Last Ten Years))
<図3-1>

(3) 光化学スモッグ注意報の発令状況の推移

(Trend of Announcement situation of photochemical warnings)

光化学スモッグ注意報の発令日数は、図3-2に示すとおり5日で、前年度より1日減少した。
また、被害の届出はなかった。

過去10年間では年度によってばらつきがある。



光化学スモッグ注意報発令日の1時間値の最高濃度は表3-2のとおりである。

表3-2 光化学スモッグ注意報の発令状況
(Announcement situation of photochemical warnings)

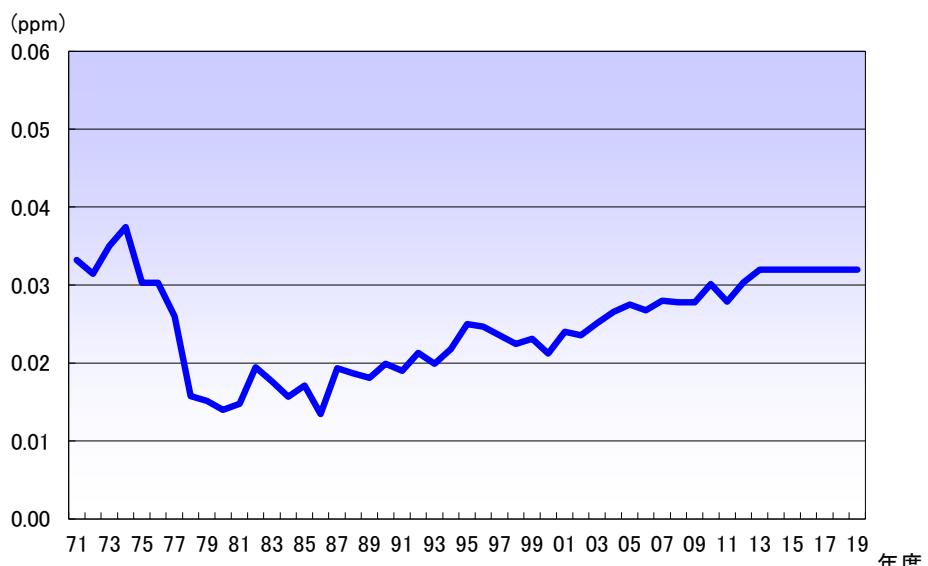
発令回数 (Number of Days Photochemical Smog Warnings were issued)	発令日 (Date of Announcement)	時間帯 (Time)	最高濃度 (Maximum Ox Concentration)	最高濃度出現局 (The Station in which Maximum Ox Concentration appeared)	0.12ppm以上の測定局 (Stations in which 1-hour Values of Ox Concentration were 0.12ppm or above)	神奈川県内の 発令状況 (川崎地域は除く)
						(Announcement situation of photochemical warnings in Kanagawa Prefecture other than Kawasaki City)
1	5月26日	11:20 ~ 15:20	0.159	中原	7局(川崎、大師、田島、幸、中原、高津、宮前)	横浜、横須賀
2	5月27日	11:20 ~ 14:20	0.134	田島	7局(宮前、多摩、高津、中原、幸、田島、大師)	—
3	8月1日	13:20 ~ 16:20	0.149	宮前	4局(中原、高津、多摩、宮前)	横浜
4	8月2日	13:20 ~ 15:20	0.134	多摩	3局(宮前、多摩、高津)	—
5	9月10日	14:20 ~ 17:20	0.151	宮前	7局(大師、田島、幸、中原、高津、多摩、宮前)	横浜

注) 神奈川県内では6/6にも光化学スモッグ注意報が発令されている。

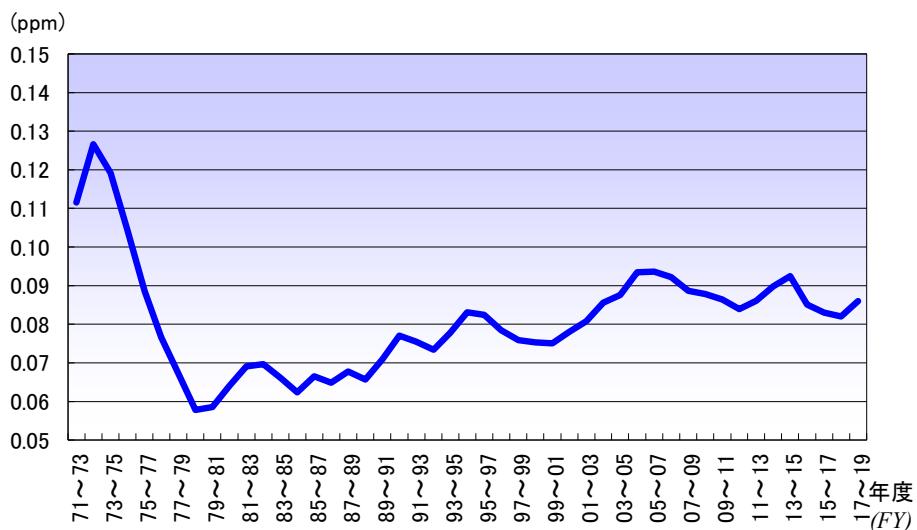
(4) 昼間の年平均値と日最高8時間値の年間99パーセンタイル値3年移動平均の経年変化

(A Long-Term Trend of Annual Average of Ox Concentration and
3-year Moving Average of 99th Percentile Value of 8-hour Daily Maximum Ox Concentration)

昼間の年平均値(測定した全局平均)は、表3-4及び図3-3に示すとおり1974年度に0.037ppmで最大となり、以降は減少傾向が見られたが、1986年度の0.013ppmを計測して以降は増加傾向で、2013年度以降は横ばいで推移している。
日最高8時間値の年間99パーセンタイル値3年移動平均値は表3-5及び図3-4に示すとおり、84～86年度以降は増加傾向だが、近年では横ばいで推移している。



光化学オキシダントの昼間の年平均値の経年変化
(A Long-Term Trend of Annual Average Ox Concentration during the Daytime)
<図3-3>



日最高8時間値の年間99パーセンタイル値3年移動平均値の経年変化
(A Long-Term Trend of 3-year Moving Average of 99th Percentile Value of 8-hour Daily Maximum Ox Concentration)
<図3-4>

注) 「日最高8時間値の年間99パーセンタイル値」とは、一日の8時間移動平均値のうち最高値を算出し、その数値を一年分並べ、低い日から数えて99%目に該当する数値。2014年9月に環境省から、光化学オキシダントの環境改善効果を適切に示すため、長期的な推移を評価する指標として示された。

※ 大気汚染防止法施行令の一部を改正する政令(昭和52年政令第66号)及び大気汚染防止法施行規則の一部を改正する総理府令(昭和52年総理府令第6号)が昭和52年4月2日に公布・施行され、測定法が変更となった。そのため、1977～78年度頃を境に値が大きく変動している。

(5) 光化学スモッグ注意報発令日数の経年変化

(A Long-Term Trend of Number of Days in which Photochemical Smog Warnings were issued)

光化学スモッグ注意報の発令日数は、表3-3及び図3-5に示すとおり1973年度に25日を記録して以降は年10日前後で推移している。

表3-3 光化学スモッグ注意報の発令日数と被害届出者数の経年変化

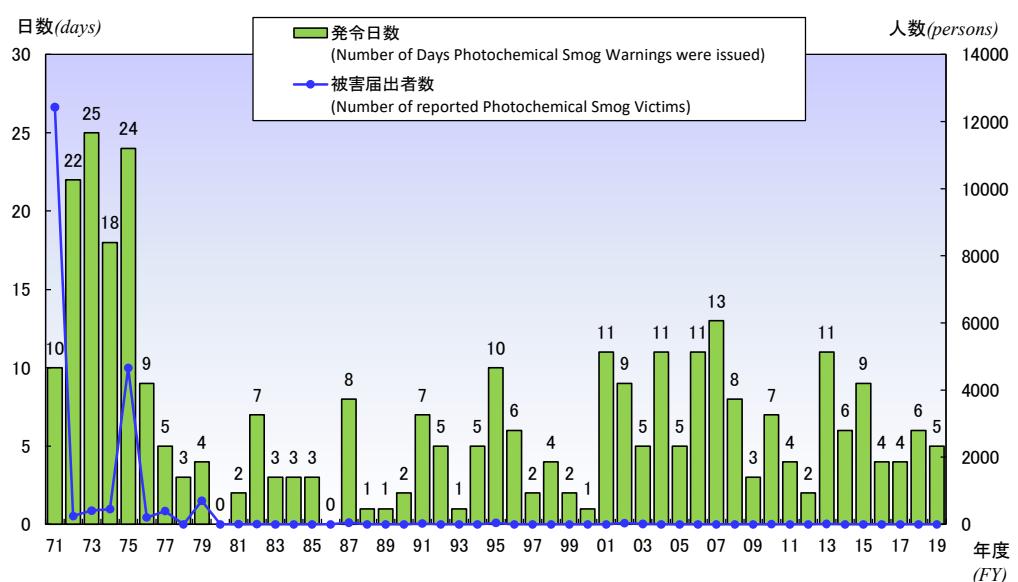
(A Long-Term Trend of Number of Days in which Photochemical Smog Warnings were issued and Number of reported Photochemical Smog Victims)

年度(FY)	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87
発令日数 (Number of Days Photochemical Smog Warnings were issued)	10	22	25	18	24	9	5	3	4	0	2	7	3	3	3	0	8
被害届出者数 (Number of reported Photochemical Smog Victims)	12425	251	408	450	4662	206	396	0	698	0	4	4	0	0	1	0	50

年度(FY)	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04
発令日数 (Number of Days Photochemical Smog Warnings were issued)	1	1	2	7	5	1	5	10	6	2	4	2	1	11	9	5	11
被害届出者数 (Number of reported Photochemical Smog Victims)	0	0	0	22	0	0	0	46	0	0	0	0	0	0	39	10	1

年度(FY)	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
発令日数 (Number of Days Photochemical Smog Warnings were issued)	5	11	13	8	3	7	4	2	11	6	9	4	4	6	5
被害届出者数 (Number of reported Photochemical Smog Victims)	0	0	0	0	0	6	0	0	15	0	0	0	0	1	0

注)発令日数には、1972年度及び1975年度に発令された光化学スモッグ警報がそれぞれ1日含まれている。



光化学スモッグ注意報の発令日数と被害届出者数の経年変化

(A Long-Term Trend of Number of Days in which Photochemical Smog Warnings were issued and Number of reported Photochemical Smog Victims)

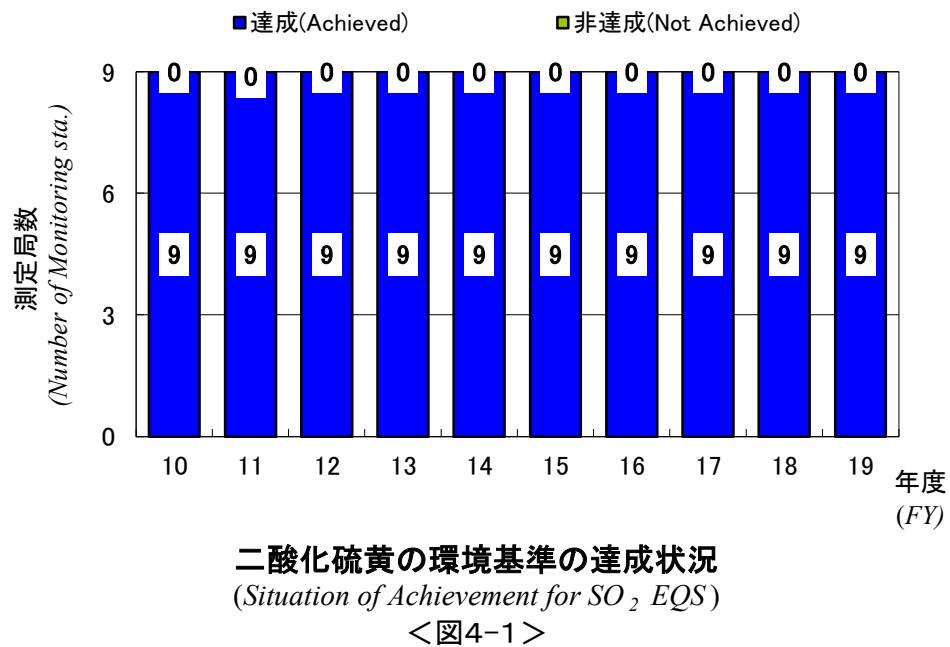
<図3-5>

2-4 二酸化硫黄 (SO_2 : Sulfur Dioxide)

(1) 環境基準の達成状況 (Situation of Achievement for SO_2 EQS)

一般局9局で測定しており、表4-1及び図4-1に示すとおり、環境基準の長期的評価及び短期的評価ともに全局で達成した。

また、一般局における達成状況の推移は、図4-1に示すとおり長期にわたり継続的に達成している。



**表4-1 二酸化硫黄(SO₂)の測定結果と評価
(Results of Measurements and Assessment for SO₂)**

測定局 (Monitoring Station)	環境基準評価						有効測定日数 (Number of Valid Monitoring Days)	環境基準値に適合した日数とその割合 ^{※3} (Number and percentage of days that conformed to SO ₂ EQS)	年平均値 (Annual Average)			
	長期的評価 (Long-term Assessment)			短期的評価 (Short-term Assessment)								
	日平均値の2%除外値 (2%-excluded Daily Average SO ₂ Concentration)	0.04ppmを超えた日が2日以上連續の有無とその回数 (Presence or absence of times when the Value of Daily Average SO ₂ Concentration was 0.04ppm or above for two or more consecutive days, and the number of such occurrences)	評価 ^{※1} (Assessment)	1時間値が0.1ppmを超えた時間数とその割合 (Number and percentage of hours in which 1-hour Values of SO ₂ Concentration were above 0.1ppm)	日平均値が0.04ppmを超えた日数とその割合 (Number and percentage of days in which Daily Average SO ₂ Concentration were above 0.04ppm)	評価 ^{※2} (Assessment)						
ppm	有無	回 (times)	○ ×	時間 (hours)	%	日 (days)	%	○ ×	日 (days)	日 (days)	%	ppm
大師 (Daishi)	0.007	無	0	○	0	0	0	○	359	359	100	0.002
田島 (Tajima)	0.005	無	0	○	0	0	0	○	363	363	100	0.002
川崎 (Kawasaki)	0.004	無	0	○	0	0	0	○	357	357	100	0.001
幸 (Saiwai)	0.004	無	0	○	0	0	0	○	345	345	100	0.001
中原 (Nakahara)	0.003	無	0	○	0	0	0	○	350	350	100	0.001
高津 (Takatsu)	0.003	無	0	○	0	0	0	○	361	361	100	0.001
宮前 (Miyamae)	0.002	無	0	○	0	0	0	○	359	359	100	0.001
多摩 (Tama)	0.002	無	0	○	0	0	0	○	359	359	100	0.001
麻生 (Asao)	0.002	無	0	○	0	0	0	○	361	361	100	0.001

※1 環境基準の長期的評価:次の①及び②の両方に適合した場合「達成」と評価し、○で表示、①または②のどちらかに適合しなかった場合「非達成」と評価し、×で表示した。
①日平均値の2%除外値が0.04ppm以下、②日平均値が0.04ppmを超えた日が2日連續しないこと

※2 環境基準の短期的評価:次の①及び②の両方に適合した場合「達成」と評価し、○で表示、①または②のどちらかに適合しなかった場合「非達成」と評価し、×で表示した。
①1時間値が0.1ppm以下 ②日平均値がすべての有効日数で0.04ppm以下

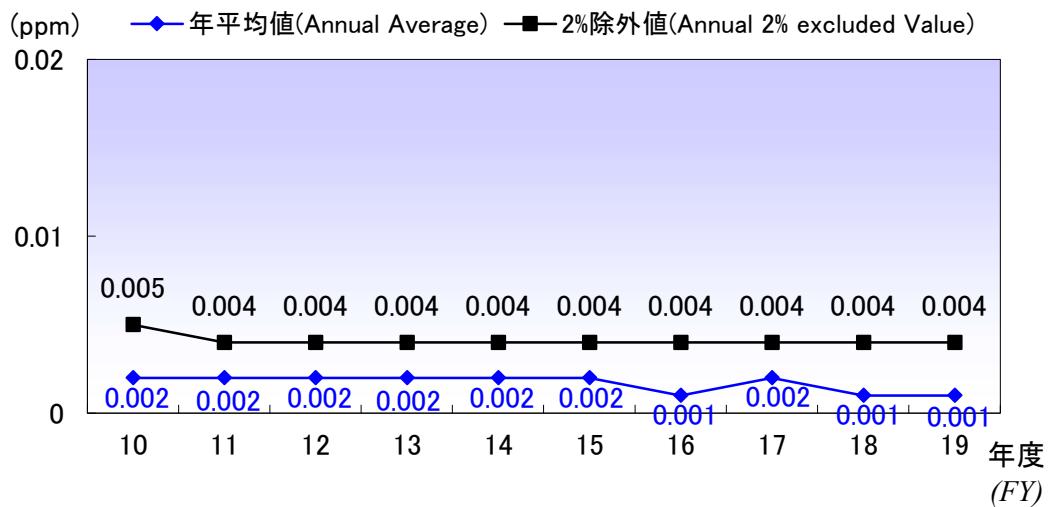
※3 環境基準値に適合した日数:日平均値0.04ppmを超えた日数と1時間値が0.1ppmを超えた日数 (ただし、日平均値が0.04ppmを超えた日と同一日は除く)を引いた日数とした。

(2) 年平均値と日平均値の2%除外値の推移(過去10年間) (Trend of Annual Average and 2%-excluded Value of Daily Average SO_2 Concentration (The Last Ten Years))

年平均値(測定した全局平均)は、図4-2に示すとおり、2019年度は0.001ppmで、前年度と同じ濃度であった。

また、日平均値の2%除外値(測定した全局平均)は、0.004ppmで、前年度と同じ濃度であった。

年平均値、日平均値とともに、過去10年間でほぼ横ばいの傾向にある。



二酸化硫黄の年平均値及び日平均値の2%除外値の推移(過去10年間)

(Trend of Annual Average Concentration and 2%-excluded Daily Average

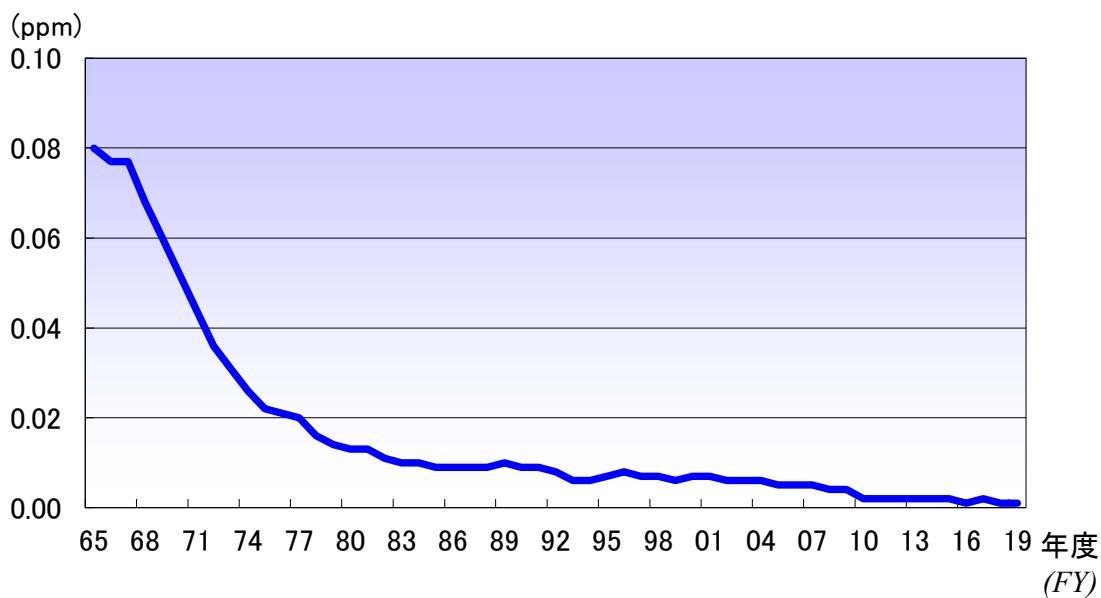
Concentration of SO_2 (The Last Ten Years))

<図4-2>

(3) 年平均値と日平均値の2%除外値の経年変化 (*A Long-Term Trend of Annual Average and 2%-excluded Value of Daily Average SO₂ Concentration*)

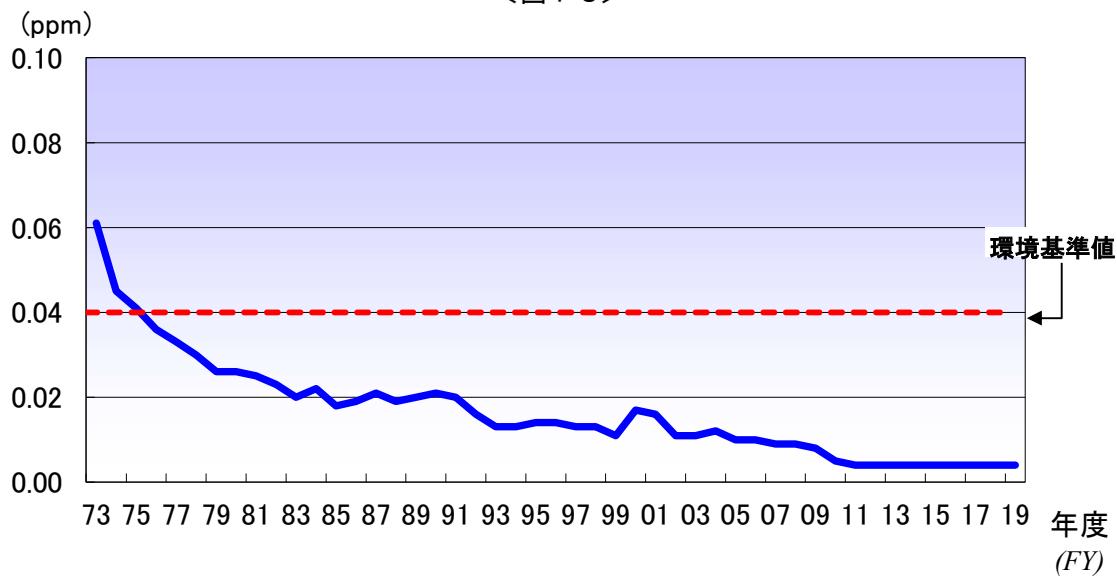
年平均値(測定した全局平均)は、表4-2及び図4-3に示すとおり測定を開始した1965年度が0.080ppmで最大となっており、以降は減少傾向が見られ、2019年度は0.001ppmで1965年度と比べて99%減少した。

また、日平均値の2%除外値(測定した全局平均)は、表4-3及び図4-4に示すとおり評価を開始した1973年度が0.061ppmで最大となっており、以降は減少傾向が見られ、2019年度は0.004ppmで1973年度と比べて93%減少した。



二酸化硫黄の年平均値の経年変化
(*A Long-Term Trend of Annual Average SO₂ Concentration*)

<図4-3>



二酸化硫黄の日平均値の2%除外値の経年変化
(*A Long-Term Trend of 2%-excluded Daily Average SO₂ Concentration*)

<図4-4>

2-5 一酸化炭素 (CO : Carbon Monoxide)

(1) 環境基準の達成状況 (Situation of Achievement for CO EQS)

田島一般局及び自排局4局で測定しており、表5-1に示すとおり、環境基準の長期的評価及び短期的評価ともに全局で達成した。

また、一般局及び自排局における達成状況の推移は、図5-1及び図5-2に示すとおり長期にわたり継続的に達成している。

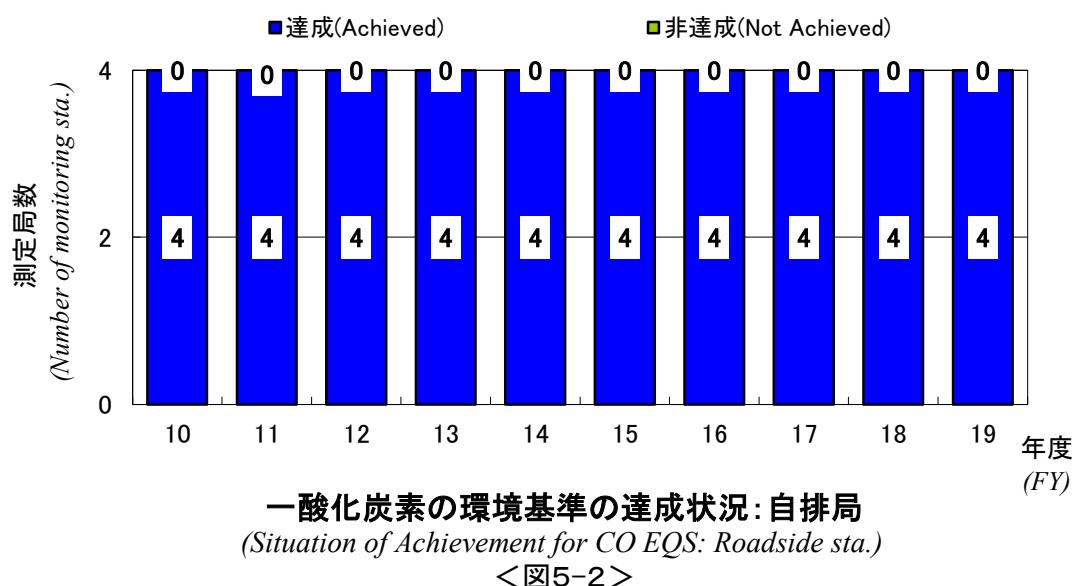
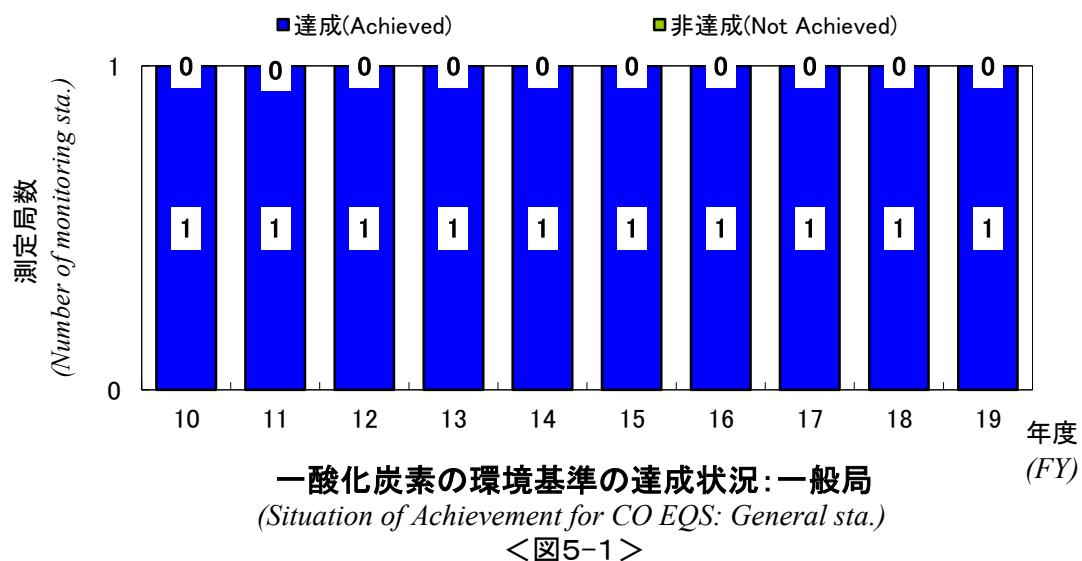


表5-1 一酸化炭素(CO)測定結果と評価
(Results of Measurement and Assessment for CO)

測定局 <i>(Monitoring station)</i>		環境基準評価 <i>(Assessment of EQS)</i>								環境基準値に適合した日数割合※3 <i>(Number and percentage of days that conformed to CO EQS)</i>	年平均値 <i>(Annual Average)</i>		
		長期的評価 <i>(Long-term Assessment)</i>				短期的評価 <i>(Short-term Assessment)</i>							
		日平均値の2%除外値 <i>(2%-excluded Daily Average CO Concentration)</i>	日平均値が10ppmを超えた日が2日以上連續の有無とその回数 <i>(Presence or absence of times when the Value of Daily Average CO Concentration was 10ppm or above for two or more consecutive days, and the number of such occurrences)</i>	評価※1 <i>(Assessment)</i>	8時間値が20ppmを超えた回数とその割合 <i>(Number and percentage of times in which 8-hour Average of CO Concentration were above 20ppm)</i>	日平均値が10ppmを超えた日数とその割合 <i>(Number and percentage of days in which Daily Average CO Concentration were above 10ppm)</i>	評価※2 <i>(Assessment)</i>						
ppm	有無	回 (times)	○×	回 (times)	%	日 (days)	%	○×	日 (days)	%	ppm		
一般局 <i>(General sta.)</i>	田島 <i>(Tajima)</i>	0.5	無	0	○	0	0	0	0	100	0.2		
自排局 <i>(Roadside sta.)</i>	池上 <i>(Ikegami)</i>	0.7	無	0	○	0	0	0	0	100	0.3		
	日進町 <i>(Nisshincho)</i>	0.6	無	0	○	0	0	0	0	100	0.3		
	市役所前 <i>(Shiyakusyomae)</i>	0.5	無	0	○	0	0	0	0	100	0.3		
	遠藤町 <i>(Endocho)</i>	0.7	無	0	○	0	0	0	0	100	0.4		

※1 環境基準の長期的評価:次の①及び②の両方に適合した場合「達成」と評価し、○で表示、①または②のどちらかに適合しなかった場合「非達成」と評価し、×で表示した。
 ①日平均値の2%除外値が10ppm以下、②日平均値10ppmを超えた日が2日以上連續しないこと。

※2 環境基準の短期的評価:次の①及び②の両方に適合した場合「達成」と評価し、○で表示、①または②のどちらかに適合しなかった場合「非達成」と評価し、×で表示した。
 ①8時間平均値が20ppm以下、②日平均値が10ppm以下

※3 環境基準値に適合した日数:有効測定日数から、日平均値が10ppmを超えた日数と、1時間値の8時間平均値が20ppmを超えた日数(ただし、日平均値が10ppmを超えた日と同一日は除く)を引いた日数とした。

(2)年平均値と日平均値の2%除外値の推移(過去10年間)(*Trend of Annual Average and 2%-excluded Value of Daily Average CO Concentration(The Last Ten Years)*)

【一般局(田島局)】

年平均値は、図5-3に示すとおり0.2ppmで、前年度と同じ濃度であった。

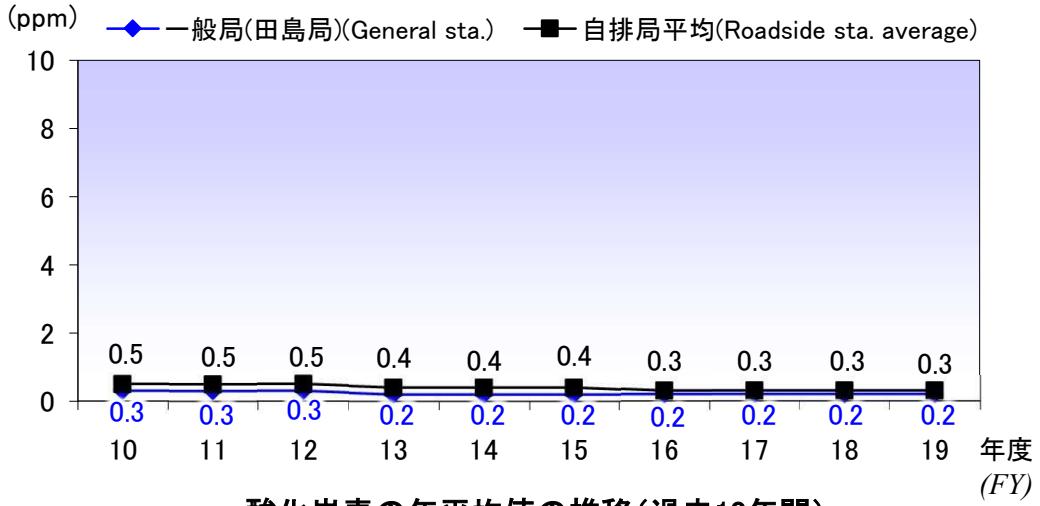
また、日平均値の2%除外値は、図5-4に示すとおり0.5ppmで、前年度と同じ濃度であった。
年平均値、日平均値ともに、過去10年間低濃度で推移している。

【自排局】

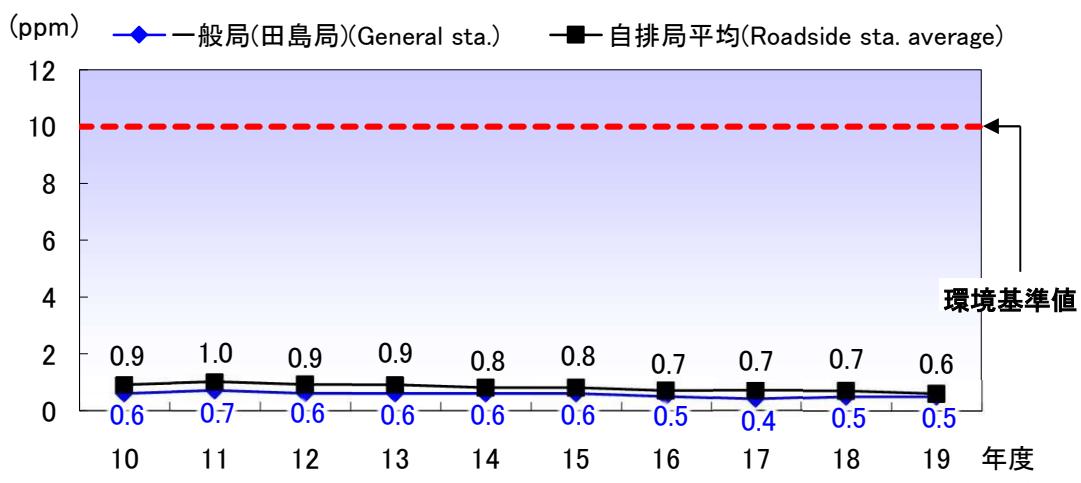
年平均値(測定した全局平均)は、図5-3に示すとおり0.3ppmで、前年度と同じ濃度であった。

また、日平均値の2%除外値(測定した全局平均)は、図5-4に示すとおり0.6ppmで前年度より0.1ppm減少した。

年平均値、日平均値ともに、過去10年間低濃度で推移している。



一酸化炭素の年平均値の推移(過去10年間)
(*Trend of Annual Average CO Concentration(The Last Ten Years)*)
<図5-3>



一酸化炭素の日平均値の2%除外値の推移(過去10年間)
(*Trend of 2%-excluded Value of Daily Average CO Concentration(The Last Ten Years)*)
<図5-4>

(3) 年平均値と日平均値の2%除外値の経年変化(A Long-Term Trend of Annual Average and 2%-excluded Value of Daily Average CO Concentration)

【一般局】

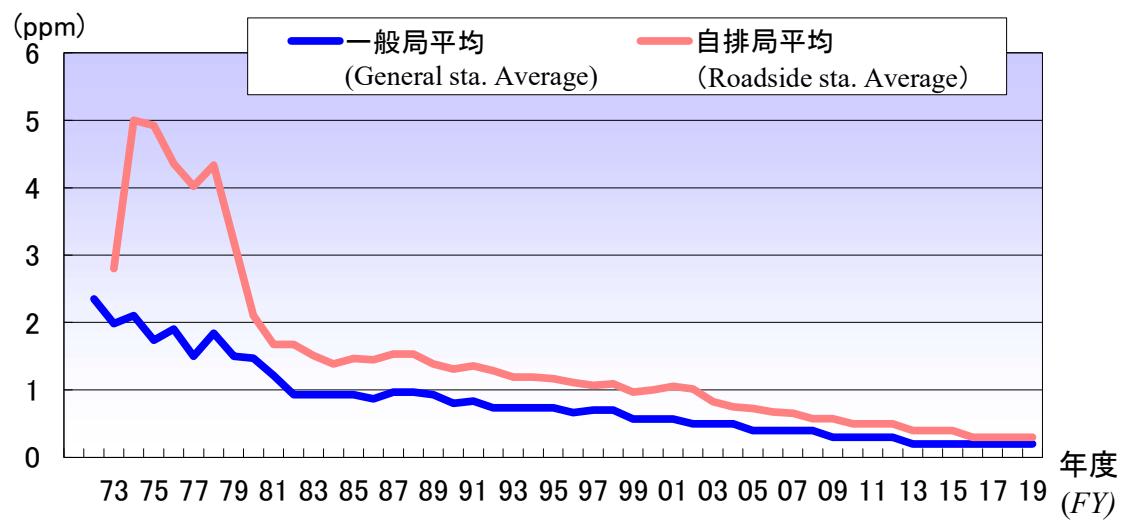
年平均値(測定した全局平均)は、表5-2及び図5-5に示すとおり測定を開始した1972年度が2.4ppmで最大となっており、以降は減少傾向が見られた。2019年度は0.2ppmで1972年度と比べて92%減少した。

また、日平均値の2%除外値(測定した全局平均)は、表5-4及び図5-6に示すとおり1972年度が5.4ppmで最大となっており、以降は減少傾向が見られ、2019年度は0.5ppmで1972年度と比べて91%減少した。

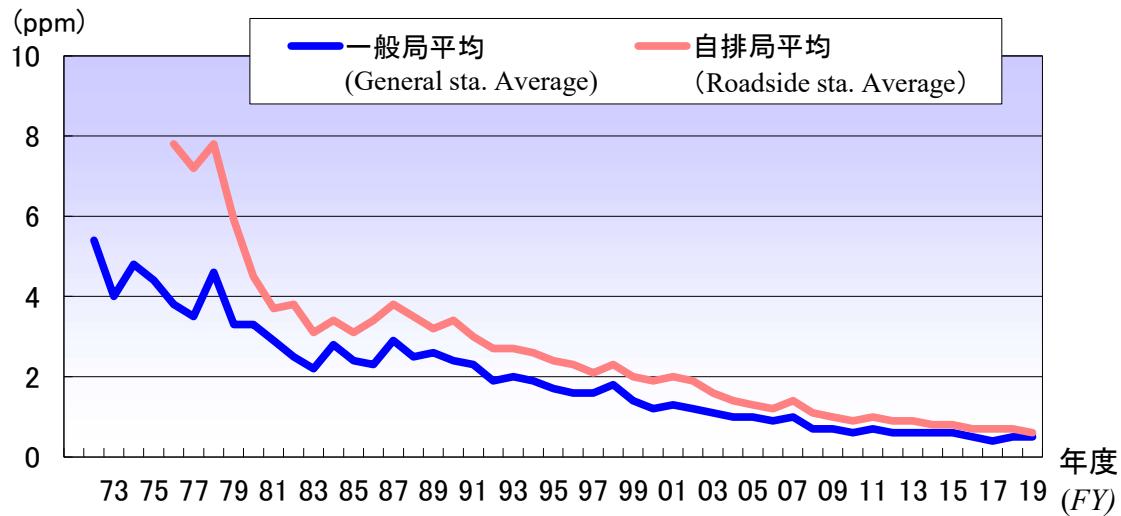
【自排局】

年平均値(測定した全局平均)は、表5-3及び図5-5に示すとおり1974年度に5.0ppmで最大となり、以降は減少傾向が見られた。2019年度は0.3ppmで1974年度と比べて94%減少した。

また、日平均値の2%除外値(測定した全局平均)は、表5-5及び図5-6に示すとおり1976年度と1978年度に7.8ppmで最大となり、以降は減少傾向が見られ、2019年度は0.6ppmで1976年度及び1978年度に比べて92%減少した。



一酸化炭素の年平均値の経年変化
(A Long-Term Trend of Annual Average CO Concentration)
<図5-5>



一酸化炭素の日平均値の2%除外値の経年変化
(A Long-Term Trend of 2%-excluded Value of Daily Average CO Concentration)
<図5-6>

(参考資料)

表5-2 一般局の一酸化炭素の年平均値の経年変化 (A Long-Term Trend of Annual Average CO Concentration:General sta.)

単位:ppm

年度(FY)	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	
一般局 (General sta.)	大師 (Daishi)	1.8	1.6	(2.5)	1.8	2.3	1.3	1.7	1.2	1.4	1.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	田島 (Tajima)	2.6	(2.1)	2.6	0.6	1.4	(1.5)	1.5	1.6	1.0	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.9	0.9	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.6	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6		
	川崎(公害監視センター) (Kawasaki Pollution Monitoring Center)	2.7	2.2	1.9	1.7	1.2	1.5	1.5	1.7	1.3	1.2	0.9	1.1	1.1	1.1	1.0	1.1	1.1	1.1	0.8	0.9	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.6	0.6	0.6	
	幸(保健福祉センター) (Saiwai hokenhukushi senta)	2.3	1.9	1.4	1.6	1.5	1.3	1.9	1.0	1.5	1.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	中原 (Nakahara)	(2.2)	2.0	2.7	2.8	1.9	1.0	2.0	(1.4)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	高津 (Takatsu)	(2.8)	2.1	2.1	(2.7)	2.4	1.8	2.4	1.8	1.9	1.6	1.1	0.9	0.9	0.9	0.8	1.0	0.9	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	
	多摩(保健所) (Tama hokenyo)	(2.5)	2.1	1.9	1.9	2.6	2.1	1.9	1.7	1.7	1.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
一般局平均 (General sta. Average)		2.4	2.0	2.1	1.7	1.9	1.5	1.8	1.5	1.5	1.2	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	1.0	1.0	0.9	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6	
年度(FY)	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19													
一般局 (General sta.)	大師 (Daishi)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	田島 (Tajima)	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	
	川崎(公害監視センター) (Kawasaki Pollution Monitoring Center)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	幸(保健福祉センター) (Saiwai hokenhukushi senta)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	中原 (Nakahara)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	高津 (Takatsu)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	多摩(保健所) (Tama hokenyo)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
一般局平均 (General sta. Average)		0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2

注)()は、年間測定時間が6,000時間未満

(参考資料)

表5-3 自排局の一酸化炭素の年平均値の経年変化 (A Long-Term Trend of Annual Average CO Concentration:Roadside sta.)

単位: ppm

年度(FY)	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02			
自排局 (Roadside sta.)	池上 (Ikegami)	—	—	—	—	—	—	—	1.4	1.4	1.5	1.4	1.4	1.6	1.5	1.5	1.4	1.4	1.3	1.3	1.3	1.3	1.2	1.2	1.2	1.0	1.0	0.9	0.9				
	新川通 (Shinkawadori)	—	(3.3)	2.9	2.8	3.2	(3.5)	2.8	1.8	1.3	2.2	1.7	1.5	1.5	1.5	1.8	1.7	1.6	1.4	1.4	1.3	1.2	1.2	1.1	1.1	0.9	1.0	0.9	0.9				
	日進町 (Nishininchō)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
	市役所前 (Shiyakushomae)	2.8	2.6	3.0	3.1	2.7	2.7	2.3	2.3	2.6	1.5	1.2	1.2	1.2	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.0	0.9	1.0	0.8	0.9	0.9	0.9	0.7	(0.6)	0.9	0.9	
	遠藤町 (Endohcho)	(8.1)	7.4	8.6	7.2	6.5	(5.7)	(5.1)	(1.9)	2.0	2.2	2.0	1.9	2.0	1.7	2.0	2.2	1.4	1.3	1.3	1.2	1.2	1.0	1.1	1.0	1.0	0.9	1.1	1.1	1.1	1.1		
	木月 (Kiduki)	(6.5)	(6.9)	(4.2)	4.0	3.7	6.4	5.5	(3.1)	(2.3)	2.0	1.3	1.2	1.2	1.1	1.2	1.1	1.1	1.1	1.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	中原平和公園 (Nakaharareiwakouen)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(1.3)	1.0	1.0	1.0	0.7	0.7	0.8	0.7	0.7	0.7	—			
	高津十字路 (Takatsujuyiro)	—	—	5.2	4.7	(3.9)	3.9	4.4	2.7	1.7	1.4	1.4	1.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
	二子 (Futago)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.5	1.6	1.5	1.4	1.3	1.5	1.4	1.4	1.3	1.2	1.3	1.3	1.4	1.3	1.4	1.4			
	馬綱 (Maginu)	—	—	—	—	—	—	1.5	1.3	1.3	1.4	1.4	1.2	1.4	1.4	1.4	1.4	1.3	1.4	1.3	1.3	1.2	1.2	1.2	1.1	1.0	1.0	0.9	0.9	—	—		
	宮前平駅前 (Miyamaedairaekimae)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.3	1.1
	多摩区役所前 (Tamakuyukushomae)	—	—	—	—	—	—	(3.1)	2.7	2.4	2.2	2.2	2.1	1.8	2.1	2.1	2.1	2.2	2.2	1.7	1.7	(1.2)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	本村橋 (Honmuraabashi)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(1.6)	1.3	1.4	1.3	1.1	1.0	0.9	1.0	0.8	—	—			
	柿生 (Kakio)	—	—	—	—	—	—	—	0.9	0.8	1.0	1.0	0.9	1.0	1.1	1.0	1.1	1.0	1.1	1.5	1.5	1.3	1.4	1.4	1.3	1.4	1.2	1.2	—	—			
自排局平均 (Roadside sta. Average)		2.8	5.0	4.9	4.4	4.0	4.3	3.2	2.1	1.7	1.7	1.5	1.4	1.5	1.4	1.5	1.5	1.4	1.3	1.4	1.3	1.2	1.2	1.1	1.1	1.0	1.1	1.0	1.1	1.0			

年度(FY)	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
自排局 (Roadside sta.)	池上 (Ikegami)	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3
	新川通 (Shinkawadori)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	日進町 (Nishininchō)	0.7	0.6	0.6	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
	市役所前 (Shiyakushomae)	0.8	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3	0.2	0.3	0.3
	遠藤町 (Endohcho)	1.0	0.9	0.9	0.8	0.8	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4
	木月 (Kiduki)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	中原平和公園 (Nakaharareiwakouen)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	高津十字路 (Takatsujuyiro)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	二子 (Futago)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	馬綱 (Maginu)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	宮前平駅前 (Miyamaedairaekimae)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	多摩区役所前 (Tamakuyukushomae)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	本村橋 (Honmuraabashi)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	柿生 (Kakio)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
自排局平均 (Roadside sta. Average)		0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3

注1)()は、年間測定時間が6,000時間未満

注2)柿生測定期は、1991年4月に測定期を道路端寄りに移動した。

注3)遠藤町測定期は2000年4月に、市役所前測定期は2000年8月に採取口を車道方向へ延長した。

(参考資料)

表5-4 一般局の一酸化炭素の日平均値の2%除外値の経年変化 (A Long-Term Trend of 2%-excluded Value of Daily Average CO Concentration:General sta.)

単位:ppm

年度(FY)	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	
一般局 (General sta.)	大師 (Daishi)	3.8	3.2	(5.6)	4.7	4.2	2.9	4.0	2.6	3.1	2.6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	田島 (Tajima)	5.3	(4.7)	6.9	3.1	3.4	(3.3)	5.1	3.8	3.0	2.3	2.3	1.9	2.7	2.3	2.3	2.7	2.4	2.4	2.5	2.3	1.8	1.9	1.9	1.7	1.6	1.5	1.8	1.4	1.3	1.4
	川崎(公害監視センター) (Kawasaki Pollution Monitoring Center)	6.4	4.5	4.8	3.8	3.0	3.3	3.7	3.5	3.2	2.6	2.6	2.4	2.9	2.5	2.5	2.8	2.5	2.7	2.0	2.2	1.9	2.0	1.9	1.7	1.6	1.6	1.8	1.5	1.2	1.2
	幸(保健福祉センター) (Saiwai hokenhukushisenren)	6.0	4.1	3.6	4.0	3.1	3.0	4.9	2.4	—	3.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	中原 (Nakahara)	(5.1)	4.5	5.6	6.0	3.8	3.2	4.8	(3.8)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	高津 (Takatsu)	(5.6)	3.9	3.9	(5.8)	4.0	3.8	5.1	3.8	4.1	3.3	2.6	2.2	2.7	2.4	2.1	3.2	2.7	2.6	2.6	2.3	2.0	2.1	2.0	1.7	1.7	1.6	1.7	1.4	1.2	1.3
	多摩(保健所) (Tama hokenijo)	(5.4)	3.9	4.2	4.5	5.3	4.8	4.4	3.7	3.3	2.9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
一般局平均 (General sta. Average)		5.4	4.0	4.8	4.4	3.8	3.5	4.6	3.3	3.3	2.9	2.5	2.2	2.8	2.4	2.3	2.9	2.5	2.6	2.4	2.3	1.9	2.0	1.9	1.7	1.6	1.6	1.8	1.4	1.2	1.3

年度(FY)	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
一般局 (General sta.)	大師 (Daishi)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	田島 (Tajima)	1.2	1.1	1.0	1.0	0.9	1.0	0.7	0.7	0.6	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.5	0.4	0.5	0.5
	川崎(公害監視センター) (Kawasaki Pollution Monitoring Center)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	幸(保健福祉センター) (Saiwai hokenhukushisenren)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	中原 (Nakahara)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	高津 (Takatsu)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	多摩(保健所) (Tama hokenijo)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
一般局平均 (General sta. Average)		1.2	1.1	1.0	1.0	0.9	1.0	0.7	0.7	0.6	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.5	0.4	0.5	0.5

注) ()は、年間測定時間が6,000時間未満

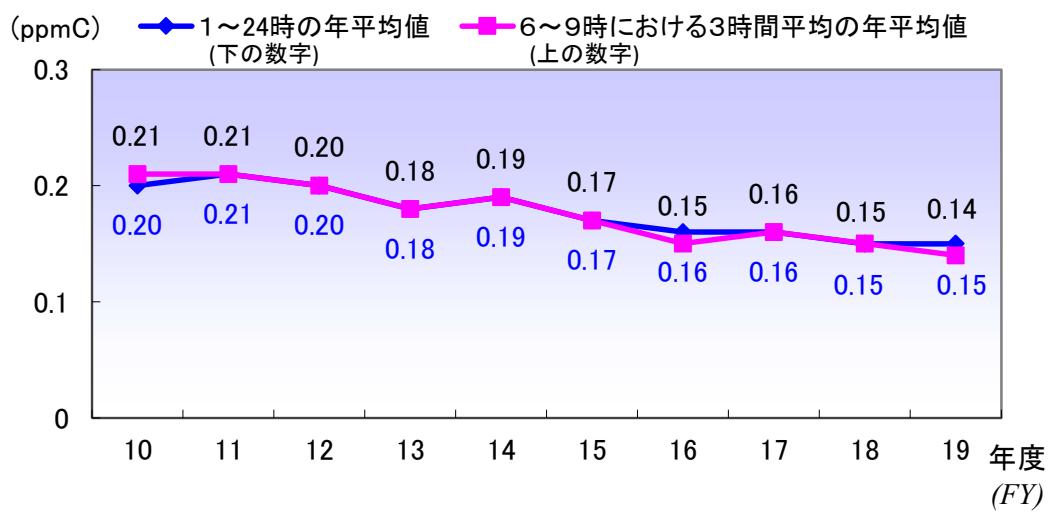
2-6 炭化水素 (HC : Hydro Carbon)

(1) 非メタン炭化水素の年平均値と3時間平均値の推移(過去10年間)

(NMHC : Trend of Annual Average and Three Hours Average of Non-methane Hydro Carbon Concentration(The Last Ten Years))

一般局7局で測定しており、非メタン炭化水素の年平均値(1～24時)は、図6-1に示すとおり、0.15ppmCで、前年度と同じ濃度であった。

また、午前6時から9時までの3時間平均値の年平均値は0.14ppmCで、前年度より0.01ppmC減少した。



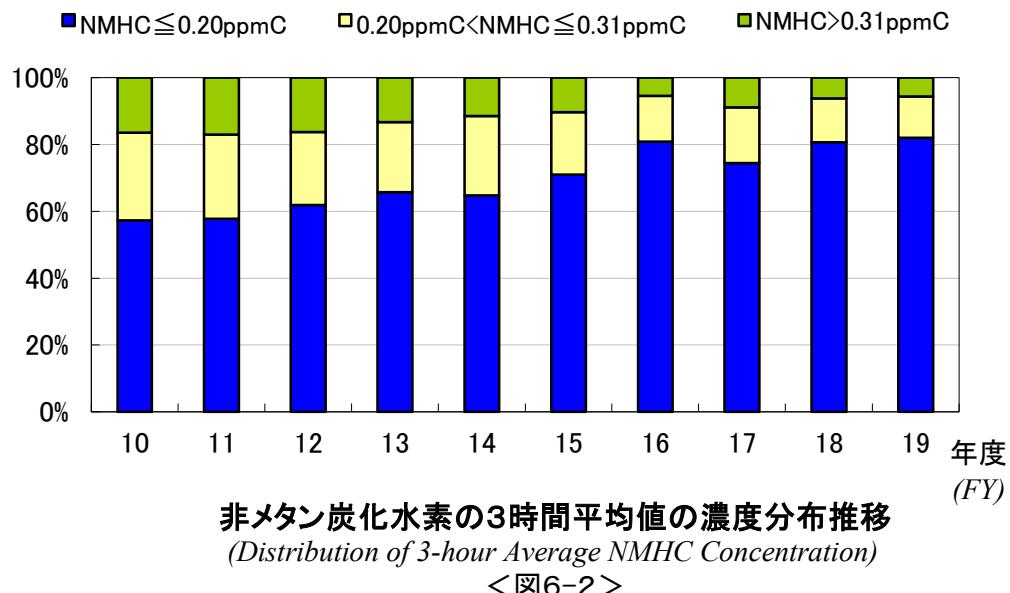
非メタン炭化水素の年平均値及び3時間平均値の推移(過去10年間)
(Trend of Annual Average and 3-hour Average of NMHC Concentration(The Last Ten Years))
<図6-1>

※2016年12月～2017年10月まで田島局は測定機の故障により欠測していたため、2016年度及び2017年度は田島局を除いた6局の平均値とした。

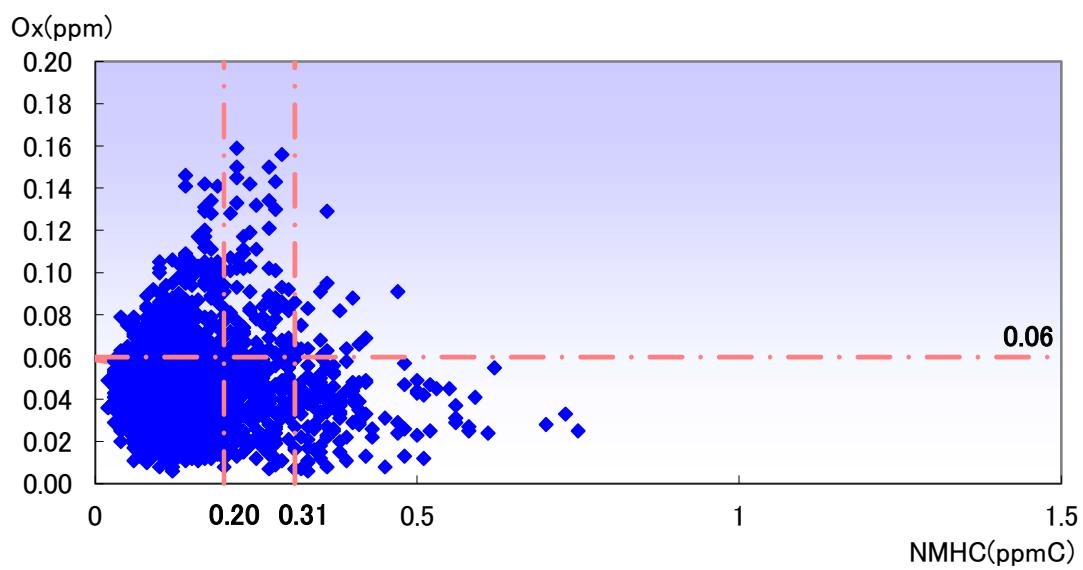
(参考)指針値との比較

過去10年間の非メタン炭化水素の午前6時から9時までの3時間平均値を「指針値^{*}」と比較すると、図6-2に示すように0.31ppmCを超えた割合は減少傾向にある。一方、図6-3に示すように、非メタン炭化水素濃度が指針値以下であっても、オキシダント濃度が0.06ppmを超えることが見受けられる。

* 指針値:「光化学オキシダントの生成防止のための大気中炭化水素濃度の指針値
午前6時から9時までの3時間平均値0.20ppmCから0.31ppmC（光化学オキシダントの日最高1時間値0.06ppmに対応する値）」



※2016年12月～2017年10月まで田島局は測定機の故障により欠測していたため、2016年度及び2017年度は田島局を除いた6局の平均値とした。



NMHCの3時間平均値とOxの昼間の1時間値の最高値の関係(2019年度)

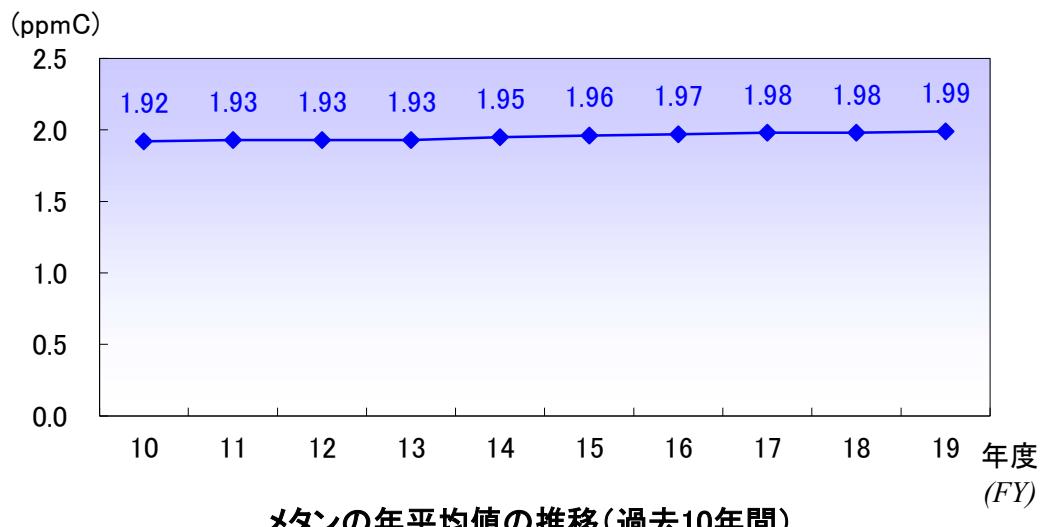
(Relationship between 3-hour Average NMHC Concentration
and Maximum Ox Concentration : FY2019)

<図6-3>

(2)メタンの年平均値の推移(過去10年間)

(CH_4 : Trend of Annual Average Methane Concentration(The Last Ten Years))

温室効果ガスの一つであるメタンの年平均値は、図6-4に示すとおり、1.99ppmCであり、経年的にはわずかに増加している。



(CH_4 : Trend of Annual Average Methane Concentration(The Last Ten Years))

<図6-4>

※2016年12月～2017年10月まで田島局は測定機の故障により欠測していたため、2016年度及び2017年度は田島局を除いた6局の平均値とした。

(3) 年平均値の経年変化(*A Long-Term Trend of Annual Average HC Concentration*)

【非メタン炭化水素】――

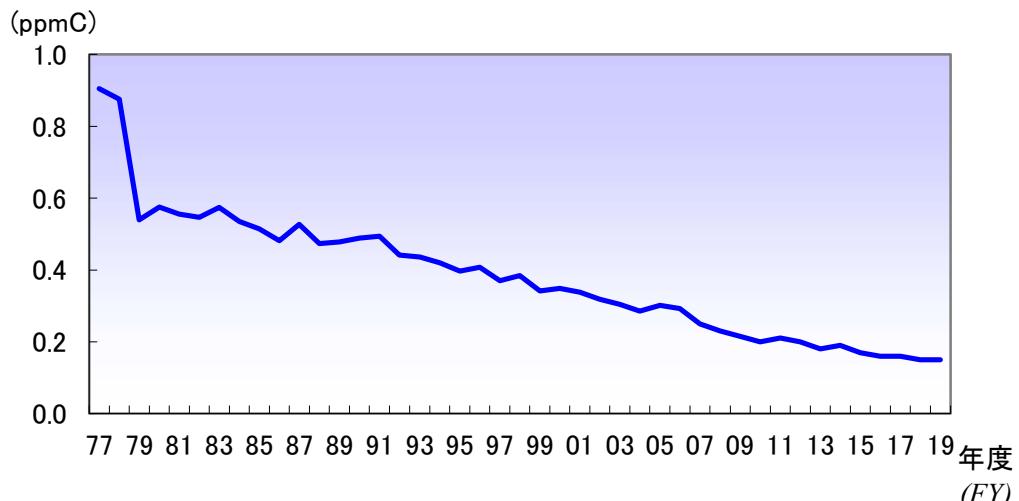
年平均値(測定した全局平均)は、表6-1及び図6-5に示すとおり測定を開始した1977年が0.91ppmCで最大となっており、以降は減少傾向が見られた。2019年度は0.15ppmCで1977年度と比べて84%減少した。

【メタン】――

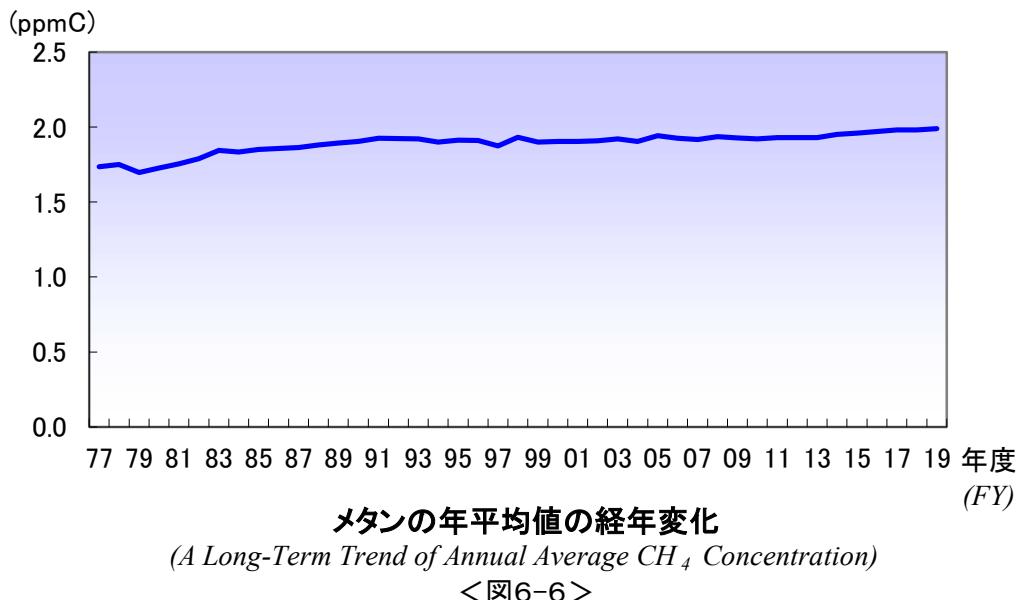
年平均値(測定した全局平均)は、表6-2及び図6-6に示すとおり1979年に1.70ppmCで最小となり、以降はわずかに増加傾向が見られ、2019年度は1.99ppmCで1979年と比べて17%増加している。

【全炭化水素】――

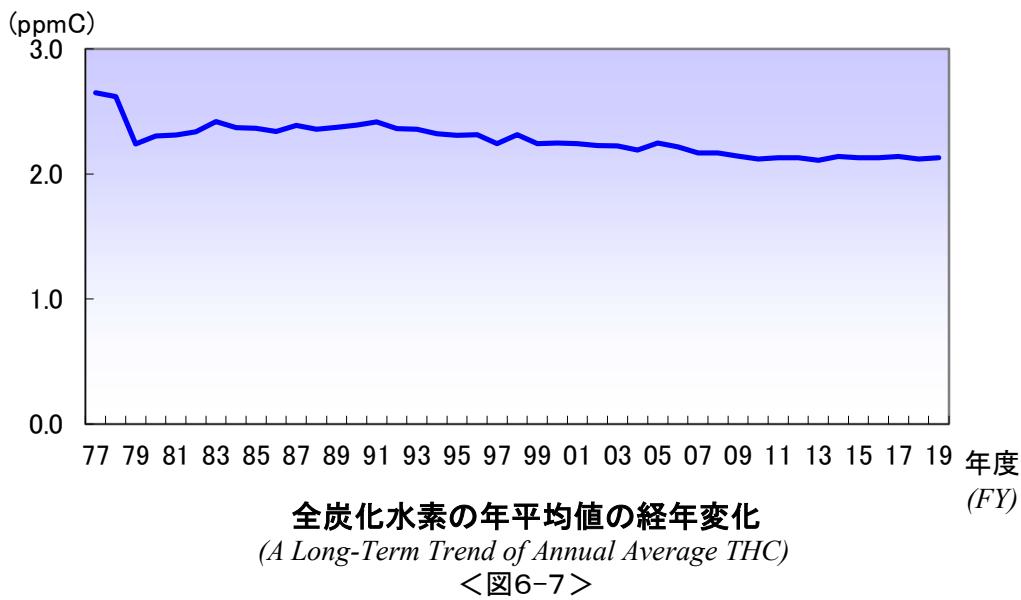
年平均値(測定した全局平均)は、表6-3及び図6-7に示すとおり測定を開始した1977年が2.65ppmCで最大となっており、以降は減少傾向が見られた。2019年度は2.13ppmCで1977年度と比べて20%減少した。



非メタン炭化水素の年平均値の経年変化
(A Long-Term Trend of Annual Average NMHC Concentration)
<図6-5>



メタンの年平均値の経年変化
(A Long-Term Trend of Annual Average CH₄ Concentration)
<図6-6>



全炭化水素の年平均値の経年変化
(A Long-Term Trend of Annual Average THC)
<図6-7>

(参考資料)

表6-1 非メタン炭化水素の年平均値の経年変化 (A Long-Term Trend of Annual Average NMHC Concentration)

	年度 (FY) 単位: ppmC																															
	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06		
一般局 (General sta.)	大師 (Daishi)	—	—	(0.62)	(0.56)	0.53	0.53	0.58	0.60	0.57	0.42	0.52	0.47	0.47	0.47	0.47	0.43	0.43	0.43	0.42	0.42	0.38	0.36	0.35	0.35	0.40	0.36	0.32	0.33	0.36	0.35	
	田島 (Tajima)	—	—	0.45	0.47	0.47	0.49	0.50	0.46	0.45	0.43	0.50	0.44	0.50	0.45	0.45	0.40	0.40	0.38	0.36	0.37	0.36	0.39	0.34	0.32	0.34	0.33	0.37	0.30	0.27	0.26	
	川崎(公害監視センター) (Kawasaki Pollution Monitoring Center)	0.99	0.90	0.59	0.60	0.64	(0.56)	(0.73)	0.51	0.52	0.52	0.56	0.53	0.50	0.56	0.52	0.45	0.43	0.43	0.39	0.41	0.36	0.36	0.31	0.32	0.31	0.28	0.27	0.26	0.25		
	川崎 (Kawasaki)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
	幸(保健福祉センター) (Saikai: hokenbukushisentā)	—	—	—	—	—	0.61	0.56	0.54	0.51	0.49	0.50	0.46	0.49	0.49	0.50	0.45	0.45	0.45	0.44	0.38	0.38	0.37	0.41	0.37	0.46	0.30	0.34	0.28	0.27	—	—
	幸 (Saikai)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.34	0.31		
	中原 (Nakahara)	—	—	—	—	0.60	0.58	0.60	0.52	0.51	0.58	0.53	0.48	0.48	0.47	0.47	0.41	0.41	0.38	0.36	0.38	0.36	0.37	0.32	0.32	0.34	0.33	0.33	0.27	0.30	0.29	
	高津 (Takatsu)	0.82	0.85	0.58	0.66	0.62	0.58	0.63	0.64	0.53	0.39	0.55	0.42	0.46	0.52	0.58	0.50	0.50	0.51	0.52	0.43	0.44	0.38	0.36	0.38	0.34	0.31	0.30	0.31	0.32		
	多摩(保健所) (Tama:hokenjyo)	—	—	(0.62)	0.57	0.47	0.49	(0.50)	0.48	0.51	0.54	0.53	0.51	0.45	0.46	0.47	0.45	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	多摩 (Tama)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.43	0.38	0.36	0.37	0.33	0.36	0.32	0.31	0.30	0.25	0.25	0.27	0.28	0.27	
一般局平均 (General sta. Average)		0.91	0.88	0.54	0.58	0.56	0.55	0.57	0.54	0.51	0.48	0.53	0.47	0.48	0.49	0.49	0.44	0.44	0.42	0.40	0.41	0.37	0.38	0.34	0.35	0.34	0.32	0.30	0.29	0.30	0.29	
	年度 (FY) 単位: ppmC																															
	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19																			
一般局 (General sta.)	大師 (Daishi)	0.28	0.29	0.25	0.26	0.28	0.24	0.16	0.17	0.15	0.15	0.15	0.14	0.13																		
	田島 (Tajima)	0.24	0.23	0.21	0.20	0.18	0.19	0.18	0.19	0.19	0.19	(0.17)	(0.20)	0.13	0.13																	
	川崎(公害監視センター) (Kawasaki Pollution Monitoring Center)	0.22	0.20	0.19	0.18	0.20	0.18	—	—	—	—	—	—	—	—																	
	川崎 (Kawasaki)	—	—	—	—	—	—	0.18	0.17	0.15	0.14	0.14	0.13	0.14																		
	幸(保健福祉センター) (Saikai: hokenbukushisentā)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—																		
	幸 (Saikai)	0.25	0.22	0.21	0.21	0.20	0.18	0.17	0.22	0.20	0.19	0.19	0.18	0.17																		
	中原 (Nakahara)	0.29	0.26	0.23	0.21	0.22	0.27	0.18	0.17	0.16	0.15	0.15	0.14	0.15																		
	高津 (Takatsu)	0.26	0.24	0.22	0.20	0.21	0.19	0.20	0.23	0.20	0.19	0.19	0.18	0.17																		
	多摩(保健所) (Tama:hokenjyo)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—																		
	多摩 (Tama)	0.21	0.20	0.19	0.17	0.16	0.15	0.17	0.15	0.16	0.14	0.14	0.13	0.14																		
一般局平均 (General sta. Average)		0.25	0.23	0.21	0.20	0.21	0.20	0.18	0.19	0.17	0.16	0.16	0.15	0.15																		

注) ()は、年間測定時間が6,000時間未満

(参考資料)

表6-2 メタンの年平均値の経年変化 (A Long-Term Trend of Annual Average CH₄ Concentration)

単位: ppmC

年度 (FY)	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06			
一般局 (General sta.)	大師 (Daishi)	—	—	(1.72)	(1.75)	1.81	1.83	1.90	1.91	1.92	1.90	1.88	1.94	1.93	1.95	1.97	1.97	1.95	1.93	1.94	1.94	1.90	1.96	1.92	1.93	1.94	1.93	1.98	1.96				
	田島 (Tajima)	—	—	1.66	1.74	1.73	1.76	1.84	1.81	1.85	1.82	1.83	1.84	1.90	1.89	1.92	1.93	1.93	1.91	1.91	1.89	1.87	1.95	1.89	1.89	1.92	1.95	1.97	1.95	2.01	1.98		
	川崎(公害監視センター) (Kawasaki Pollution Monitoring Center)	1.76	1.81	1.73	(1.75)	1.79	1.80	1.85	1.80	1.89	1.90	1.89	1.91	1.90	1.91	1.93	1.93	1.92	1.91	1.93	1.94	1.90	1.97	1.93	1.94	1.89	1.89	1.90	1.88	1.92	1.90		
	川崎 (Kawasaki)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
	幸(保健福祉センター) (Saiwai: hokenhukushiセンタ)	—	—	—	—	—	1.77	1.80	1.82	1.83	1.84	1.86	1.85	1.89	1.89	1.92	1.91	1.90	1.91	1.92	1.88	1.94	1.90	1.92	1.92	1.94	1.93	—	—	—			
	幸 (Saiwai)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.97	1.96		
	中原 (Nakahara)	—	—	—	—	—	1.78	1.83	1.84	1.86	1.87	1.87	1.88	1.95	1.91	1.91	1.95	1.93	1.96	1.91	1.92	1.92	1.90	1.92	1.90	1.87	1.90	1.89	1.92	1.91	1.92	1.90	
	高津 (Takatsu)	1.71	1.69	1.70	1.71	1.69	1.76	1.84	1.82	1.77	1.82	1.84	1.84	1.87	1.91	1.90	1.90	1.88	1.87	1.89	1.88	1.85	1.90	1.89	1.89	1.91	1.90	1.91	1.89	1.93	1.91		
	多摩(保健所) (Tama:hokenjyo)	—	—	(1.72)	1.73	1.73	1.78	1.83	1.81	1.82	1.85	1.87	1.83	1.85	1.86	1.88	1.88	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	多摩 (Tama)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.90	1.87	1.88	1.87	1.82	1.88	1.87	1.88	1.85	1.86	1.83	1.87
一般局平均 (General sta. Average)		1.74	1.75	1.70	1.73	1.76	1.79	1.84	1.83	1.85	1.86	1.86	1.88	1.89	1.90	1.92	1.92	1.90	1.91	1.91	1.87	1.93	1.90	1.90	1.91	1.92	1.90	1.94	1.92	1.92			

年度 (FY)	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
一般局 (General sta.)	大師 (Daishi)	1.95	1.98	1.97	1.96	1.96	1.98	1.98	1.98	1.99	2.00	2.00	2.01	
	田島 (Tajima)	1.94	1.97	1.96	1.95	1.96	1.95	1.96	1.97	1.98	(1.95)	(2.02)	1.97	1.98
	川崎(公害監視センター) (Kawasaki Pollution Monitoring Center)	1.91	1.93	1.92	1.89	1.93	1.91	—	—	—	—	—	—	
	川崎 (Kawasaki)	—	—	—	—	—	1.90	1.95	1.97	1.98	1.98	1.98	1.98	
	幸(保健福祉センター) (Saiwai: hokenhukushiセンタ)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	幸 (Saiwai)	1.92	1.93	1.92	1.91	1.91	1.93	1.93	1.95	1.95	1.96	1.98	1.97	1.99
	中原 (Nakahara)	1.93	1.96	1.96	1.93	1.94	1.97	1.97	1.97	1.99	1.99	1.99	1.99	2.00
	高津 (Takatsu)	1.90	1.91	1.90	1.90	1.91	1.91	1.91	1.92	1.93	1.95	1.96	1.96	1.97
	多摩(保健所) (Tama:hokenjyo)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	多摩 (Tama)	1.86	1.88	1.87	1.87	1.88	1.88	1.93	1.94	1.96	1.97	1.97	1.97	1.97
一般局平均 (General sta. Average)		1.92	1.94	1.93	1.92	1.93	1.93	1.93	1.95	1.96	1.97	1.98	1.98	1.99

注) ()は、年間測定時間が6,000時間未満

(参考資料)

表6-3 全炭化水素の年平均値の経年変化 (A Long-Term Trend of Annual Average THC Concentration)

単位: ppmC

年度 (FY)	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06		
一般局 (General sta.)	大師 (Daishi)	—	—	(2.35)	(2.31)	2.34	2.36	2.48	2.51	2.49	2.33	2.40	2.41	2.41	2.42	2.44	2.40	2.38	2.36	2.36	2.36	2.28	2.32	2.27	2.28	2.34	2.29	2.26	2.26	2.35	2.31	
	田島 (Tajima)	—	—	2.11	2.20	2.20	2.25	2.34	2.28	2.30	2.25	2.34	2.28	2.39	2.34	2.37	2.33	2.33	2.29	2.26	2.26	2.23	2.34	2.24	2.21	2.26	2.28	2.34	2.26	2.28	2.25	
	川崎(公害監視センター) (Kawasaki Pollution Monitoring Center)	2.75	2.70	2.33	2.35	2.44	(2.36)	(2.58)	2.31	2.41	2.42	2.45	2.44	2.41	2.46	2.45	2.38	2.35	2.34	2.32	2.35	2.25	2.32	2.24	2.26	2.21	2.18	2.17	2.14	2.17	2.15	
	川崎 (Kawasaki)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	幸(保健福祉センター) (Saikai: hokenhukushiセンタ)	—	—	—	—	—	2.38	2.36	2.37	2.34	2.33	2.35	2.32	2.38	2.38	2.41	2.37	2.36	2.35	2.29	2.30	2.25	2.35	2.27	2.37	2.22	2.28	2.22	2.21	—	—	
	幸 (Saikai)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.31	2.27	
	中原 (Nakahara)	—	—	—	—	—	2.38	2.42	2.45	2.38	2.38	2.45	2.41	2.43	2.39	2.38	2.42	2.34	2.36	2.29	2.29	2.30	2.26	2.30	2.22	2.19	2.24	2.22	2.26	2.18	2.23	2.19
	高津 (Takatsu)	2.55	2.54	2.28	2.37	2.31	2.34	2.47	2.46	2.30	2.21	2.38	2.26	2.34	2.44	2.48	2.40	2.38	2.37	2.40	2.40	2.28	2.33	2.27	2.25	2.28	2.24	2.22	2.19	2.24	2.23	
	多摩(保健所) (Tama:hokenjyo)	—	—	(2.34)	2.30	2.20	2.27	(2.32)	2.29	2.33	2.39	2.39	2.35	2.30	2.32	2.35	2.32	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	多摩 (Tama)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.33	2.25	2.24	2.24	2.15	2.24	2.19	2.18	2.15	2.10	2.10	2.10	2.15	2.13
	一般局平均 (General sta. Average)	2.65	2.62	2.24	2.31	2.31	2.34	2.42	2.37	2.36	2.34	2.39	2.36	2.37	2.39	2.42	2.36	2.36	2.31	2.32	2.24	2.25	2.24	2.23	2.22	2.19	2.25	2.22				

年度 (FY)	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
一般局 (General sta.)	大師 (Daishi)	2.23	2.27	2.22	2.21	2.24	2.20	2.14	2.15	2.13	2.14	2.15	2.14	
	田島 (Tajima)	2.19	2.19	2.17	2.16	2.14	2.14	2.14	2.16	2.17	(2.12)	(2.21)	2.10	2.11
	川崎(公害監視センター) (Kawasaki Pollution Monitoring Center)	2.13	2.12	2.11	2.08	2.13	2.09	—	—	—	—	—	—	
	川崎 (Kawasaki)	—	—	—	—	—	—	2.08	2.13	2.12	2.12	2.12	2.11	2.13
	幸(保健福祉センター) (Saikai:hokenhukushiセンタ)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	幸 (Saikai)	2.17	2.15	2.14	2.12	2.11	2.11	2.10	2.16	2.14	2.15	2.17	2.15	2.16
	中原 (Nakahara)	2.22	2.22	2.18	2.15	2.16	2.24	2.15	2.14	2.15	2.13	2.14	2.13	2.15
	高津 (Takatsu)	2.16	2.15	2.13	2.11	2.12	2.10	2.11	2.16	2.13	2.14	2.15	2.14	2.14
	多摩(保健所) (Tama:hokenjyo)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	多摩 (Tama)	2.07	2.08	2.06	2.04	2.03	2.03	2.05	2.09	2.10	2.09	2.11	2.10	2.11
	一般局平均 (General sta. Average)	2.17	2.17	2.14	2.12	2.13	2.13	2.11	2.14	2.13	2.13	2.14	2.12	2.13

注) ()は、年間測定時間が6,000時間未満

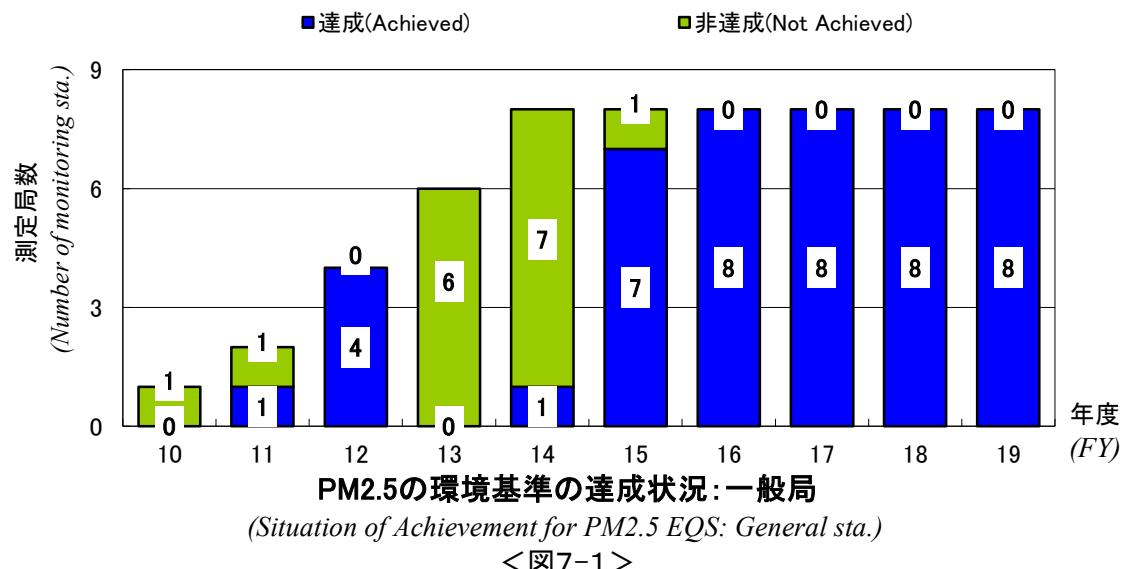
2-7 微小粒子状物質 (PM2.5 : Particulate Matter 2.5)

(1) 環境基準の達成状況 (Situation of Achievement for PM2.5 EQS)

微小粒子状物質(以下「PM2.5」という。)は一般局8局、自排局8局で測定をしている。
一般局・自排局ともに全局で環境基準を達成した。

【一般局】

表7-1に示すとおり、8局全局で環境基準を達成した。
また、一般局における達成状況の推移を図7-1に示す。

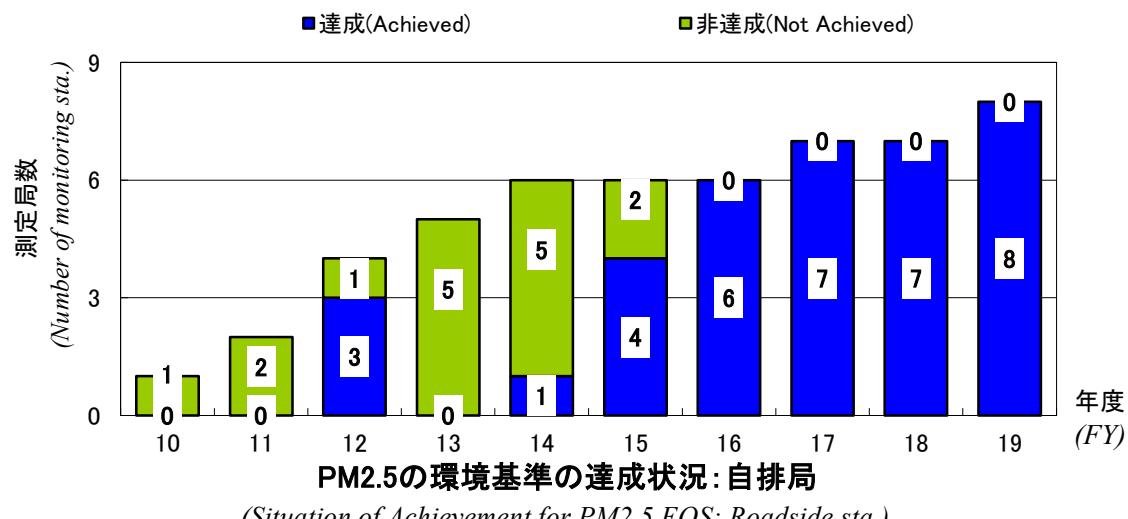


(Situation of Achievement for PM2.5 EQS: General sta.)

<図7-1>

【自排局】

表7-1に示すとおり、8局全局で環境基準を達成した。
また、自排局における達成状況の推移を図7-2に示す。



(Situation of Achievement for PM2.5 EQS: Roadside sta.)

<図7-2>

表7-1 PM2.5の測定結果と評価

(Results of Measurement and assessment for PM2.5)

測定局 (Monitoring station)		環境基準評価 (Assessment of EQS)			有効 測定 日数 (Number of Valid Monitoring Days)	環境基準値に 適合した日数と その割合※3 (Number and percentage of days that conformed to PM2.5 EQS)		環境基準値に 適合しなかった日数とそ の割合 (Number and percentage of days that conformed to PM2.5 EQS)	
		年平均値 (Annual average)	日平均値の 年間98パーセンタ イル値※1 (98th percentile value of daily average)	評価※2 (Assessment)		日 (days)	日 (days)	%	日 (days)
		$\mu\text{ g}/\text{m}^3$	$\mu\text{ g}/\text{m}^3$	○ ×					
一般局 (General sta.)	大師 (Daishti)	11.7	25.4	○	347	345	99.4	2	0.6
	田島 (Tajima)	13.3	28.6	○	336	334	99.4	2	0.6
	川崎 (Kawasaki)	11.8	26.6	○	360	358	99.4	2	0.6
	幸 (Saiwai)	9.6	22.0	○	350	349	99.7	1	0.3
	中原 (Nakahara)	9.9	22.2	○	359	358	99.7	1	0.3
	高津 (Takatsu)	10.5	23.2	○	361	361	100	0	0
	宮前 (Miyamae)	10.1	23.4	○	350	350	100	0	0
	麻生 (Asao)	8.7	21.0	○	359	359	100	0	0
自排局 (Roadside sta.)	池上 (Ikegami)	11.0	23.8	○	359	357	99.4	2	0.6
	日進町 (Nissincho)	11.5	25.8	○	356	354	99.4	2	0.6
	市役所前 (Shiyakushomae)	11.7	26.4	○	342	341	99.7	1	0.3
	中原平和公園 (Nakaharacheiwa kouen)	9.7	22.4	○	360	360	100	0	0
	二子 (Futago)	11.2	24.2	○	361	361	100	0	0
	宮前平駅前 (Miyamaedairaeki mae)	9.5	20.5	○	356	356	100	0	0
	本村橋 (Honmurabashi)	8.9	21.3	○	360	360	100	0	0
	柿生 (Kakio)	11.8	24.1	○	338	338	100	0	0

※1 日平均値の年間98パーセンタイル値: 年間の1日平均値の低い方から98%に相当する値。

※2 環境基準の評価: 次の①及び②の両方に適合した場合「達成」と評価し、○で表示、①または②のどちらかに適合しなかった場合「非達成」と評価し、×で表示した。

①年平均値が $15\text{ }\mu\text{ g}/\text{m}^3$ 以下、②日平均値の年間98パーセンタイル値が $35\text{ }\mu\text{ g}/\text{m}^3$ 以下※3 環境基準値に適合した日数: 有効測定日数から、日平均値が $35\text{ }\mu\text{ g}/\text{m}^3$ 超えた日数を引いた日数とした。

(2) 年平均値と日平均値の年間98パーセンタイル値の経年変化(*A Long-Term Trend of Annual Average and 98th Percentile Value of Daily Average PM2.5 Concentration*)

【一般局】

年平均値(測定した全局平均)は、表7-3及び図7-3に示すとおり2001年度が $23.1\mu\text{g}/\text{m}^3$ で最大となり、以降は減少傾向が見られた。2019年度は $10.7\mu\text{g}/\text{m}^3$ で2001年度と比べて54%減少した。

また、日平均値の年間98パーセンタイル値(測定した全局平均)は、表7-4及び図7-4に示すとおり2001年度に $52.2\mu\text{g}/\text{m}^3$ で最大となり、以降は減少傾向が見られた。2019年度は $24.1\mu\text{g}/\text{m}^3$ で2001年度と比べて54%減少した。

【自排局】

年平均値(測定した全局平均)は、表7-3及び図7-3に示すとおり2001年度が $34.5\mu\text{g}/\text{m}^3$ で最大となっており、以降は減少傾向が見られた。2019年度は $10.7\mu\text{g}/\text{m}^3$ で2001年度と比べて69%減少した。

また、日平均値の年間98パーセンタイル値(測定した全局平均)は、表7-4及び図7-4に示すとおり測定を開始した2001年度が $67.6\mu\text{g}/\text{m}^3$ で最大となり、以降は減少傾向が見られた。2019年度は $23.6\mu\text{g}/\text{m}^3$ で2001年度と比べて65%減少した。

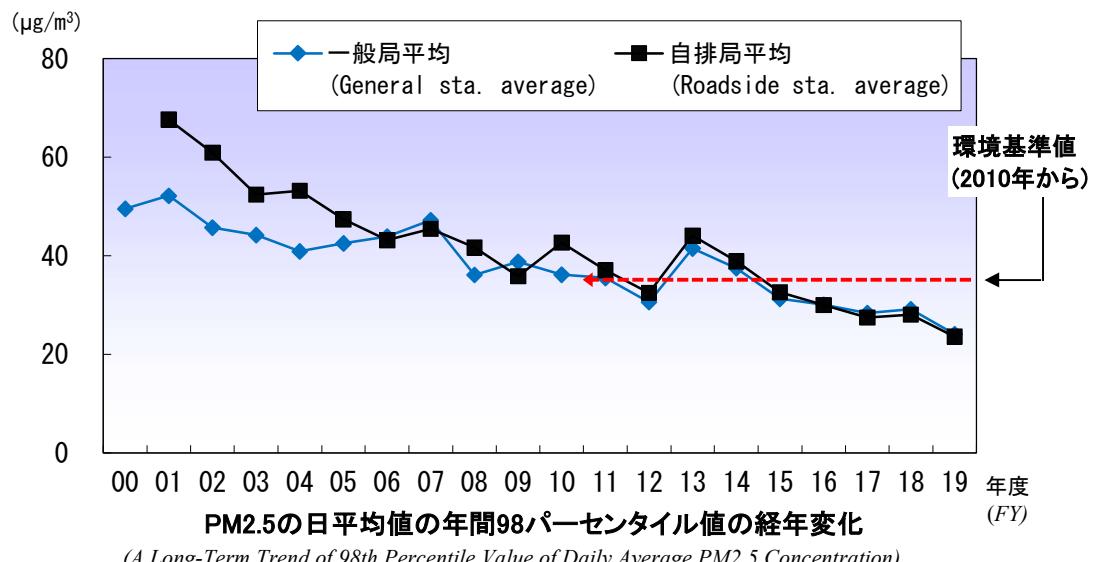
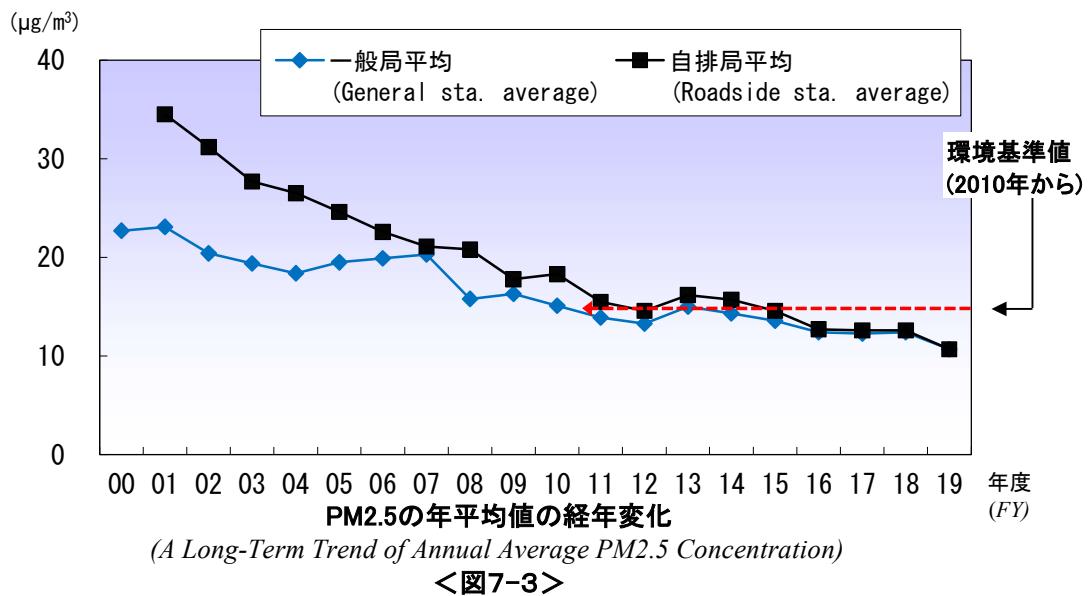


表7-2 PM2.5の環境基準評価対象測定局

	年度	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
一般局	大師	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○
	田島	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○
	川崎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○
	幸	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○
	中原	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○
	高津	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	宮前	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○
	麻生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○
自排局	池上	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○
	日進町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○
	市役所前	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○
	中原平和公園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
	二子	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	宮前平駅前	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	本村橋	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	柿生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○

・2009年度以前については、有効測定日数が250日に達していれば、認定機種以外の測定機であっても上記表中では●表記にした上でグラフに掲載している。

・環境基準や認定機種の認定法が定められた2010年度以降は、認定機種による有効測定日数が250日以上の測定データのみを評価し、上記表中では○表記としている。

2-8 酸性雨 (Acid Rain)

(1) 測定地点 (Monitoring Locations)

1991年8月から麻生一般局で測定を開始し、2003年10月から公害研究所（川崎区田島町）で測定を開始した。2013年1月まで、麻生一般局及び公害研究所の2地点で測定していたが、公害研究所の移転に伴い、同年1月から測定地点を環境総合研究所（川崎区殿町）に変更した。2019年度からは環境総合研究所のみで測定を行っている。

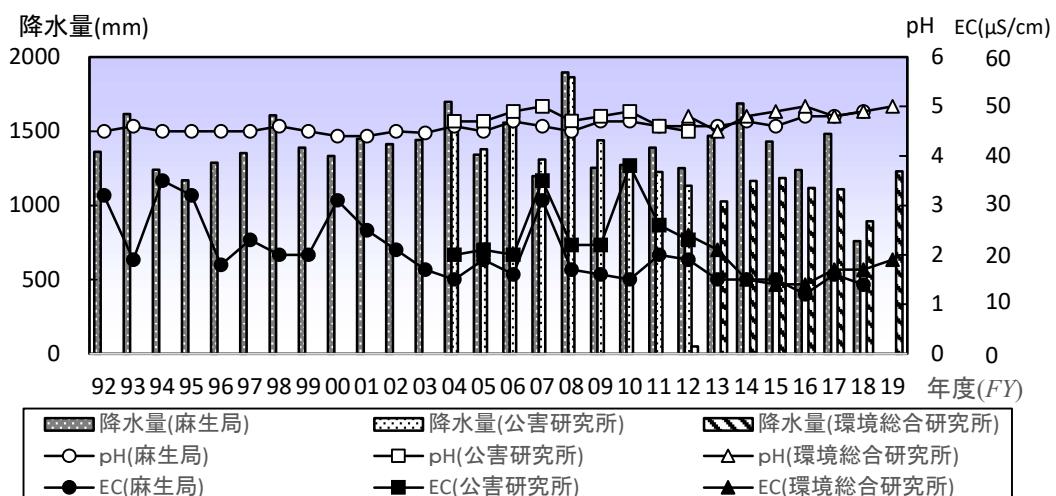
(2) 測定項目 (Measurement Items)

雨水の水素イオン濃度(pH)及び導電率(EC)について測定を行った。
pH及びECの測定は酸性雨自動分析装置により降水量0.5mmごとに行つた。

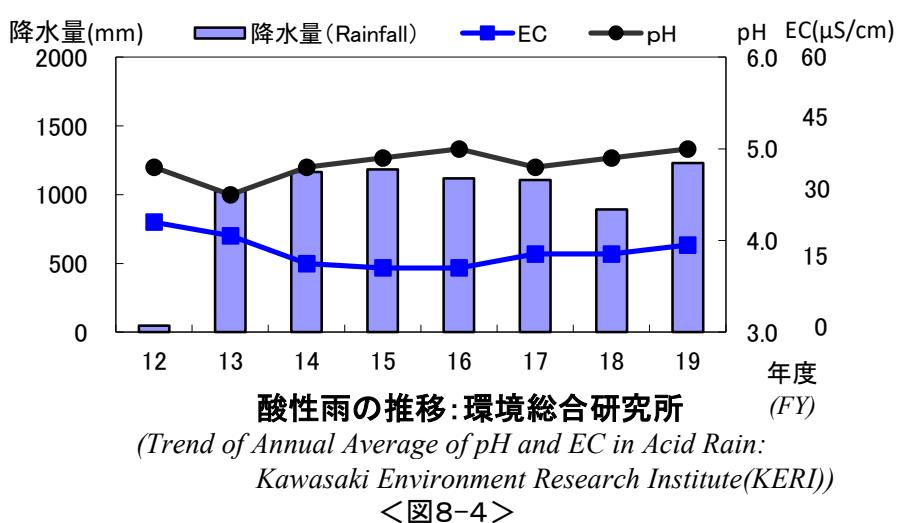
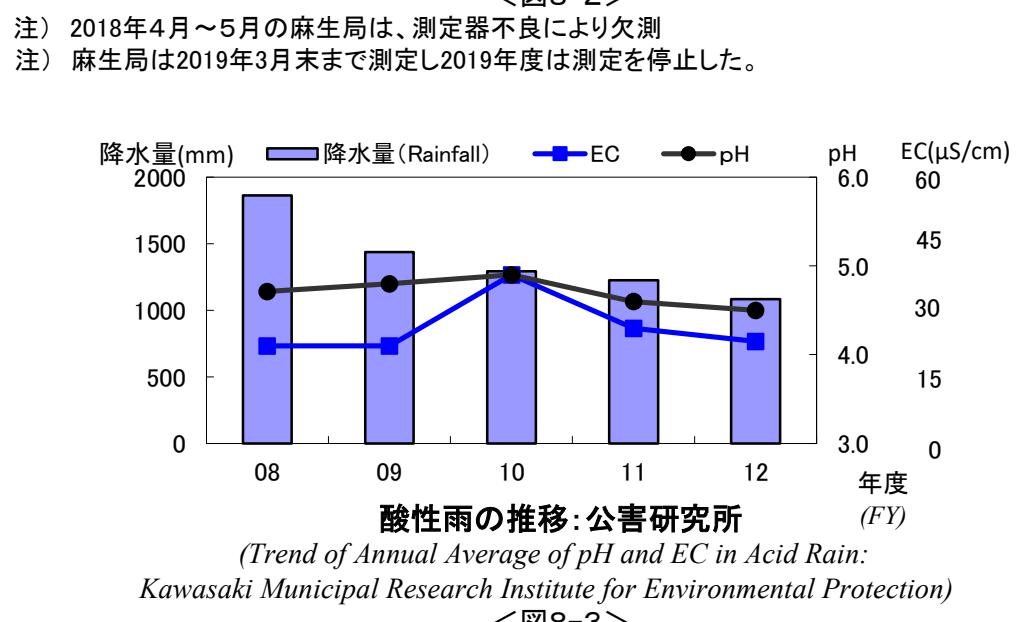
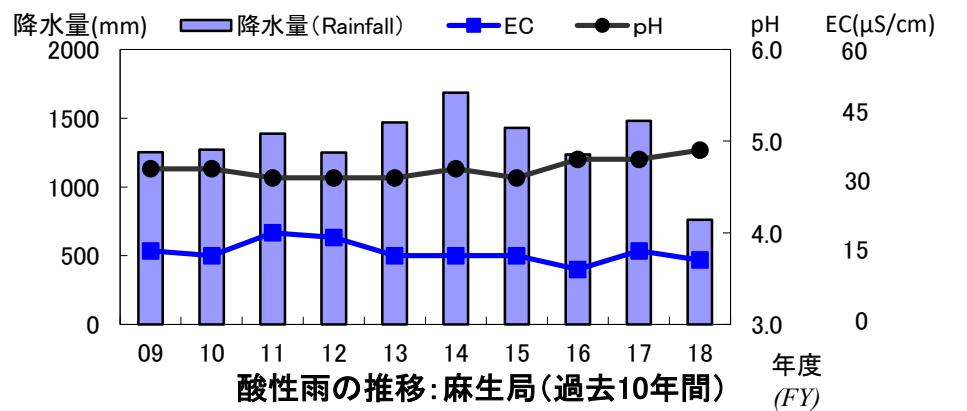
(3) 年平均値 (Annual Average)

環境総合研究所におけるpHの年平均値は5.0であり、ECの年平均値は19μS/cmであった。

麻生一般局、公害研究所及び環境総合研究所におけるpH、EC等の年平均値の経年推移は表8-1及び図8-1～8-4のとおり、pHは横ばいで推移している。



酸性雨の経年推移
(Trend of Annual Average of pH and EC in Acid Rain)
<図8-1>



(参考資料)

表8-1 酸性雨の推移 (Trend of Annual Average of pH and EC in Acid Rain)

		単位:降水量 mm EC $\mu\text{S}/\text{cm}$													
年度 (FY)		92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05
麻生局 (Asao sta.)	降水量 (Rainfall)	1361.0	1616.5	1241.0	1169.5	1287.5	1351.5	1607.0	1388.0	1334.0	1451.0	1412.5	1440.0	1698.5	1341.0
	pH	4.5	4.6	4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	4.5	4.4	4.4	4.5	4.5	4.6	4.5
	EC	32	19	35	32	18	23	20	20	31	25	21	17	15	19
公害研究所 (Kawasaki M.R.I)	降水量 (Rainfall)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1599.5	1378.5
	pH	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.7	4.7
	EC	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	20	21

年度 (FY)		06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
麻生局 (Asao sta.)	降水量 (Rainfall)	1557.5	1197.5	1898.0	1254.0	1271.5	1388.0	1250.5	1469.5	1686.5	1429.0	1237.5	1481.5	759.5	—
	pH	4.7	4.6	4.5	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6	4.7	4.6	4.8	4.8	4.9	—
	EC	16	31	17	16	15	20	19	15	15	15	12	16	14	—
公害研究所 (Kawasaki M.R.I)	降水量 (Rainfall)	1566.5	1309.0	1863.5	1437.0	1295.0	1225.0	1083.5	—	—	—	—	—	—	—
	pH	4.9	5.0	4.7	4.8	4.9	4.6	4.5	—	—	—	—	—	—	—
	EC	20	35	22	22	38	26	23	—	—	—	—	—	—	—
環境総合研究所 (Kawasaki Environment Research Institute(KERI))	降水量 (Rainfall)	—	—	—	—	—	—	48.0	1025.0	1165.0	1184.0	1118.0	1107.0	893.0	1229.5
	pH	—	—	—	—	—	—	4.8	4.5	4.8	4.9	5.0	4.8	4.9	5.0
	EC	—	—	—	—	—	—	24	21	15	14	14	17	17	19

注1) 麻生局は1991年8月から測定を開始し2019年3月まで測定した、公害研究所は2003年10月から測定を開始した。

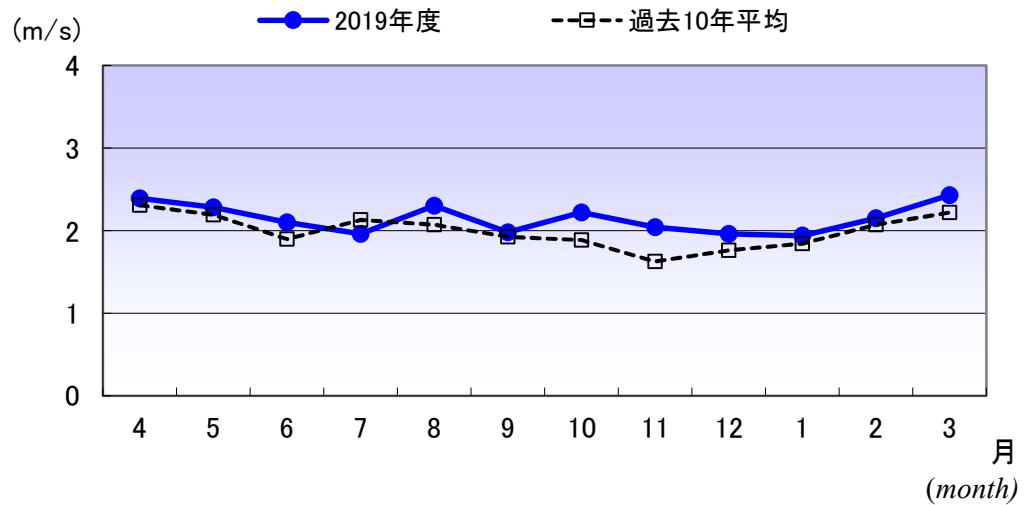
注2) 公害研究所から環境総合研究所へ測定機移設のため、2013年1月8日まで公害研究所にて測定した(2013年1月9日から1月22日まで欠測)。環境総合研究所は2013年1月23日より測定開始した。

2-9 気象 (Meteorology)

(1) 風向 (WD : Wind Direction)
風配図を図9-1に示す。

(2) 風速 (WS : Wind Speed)

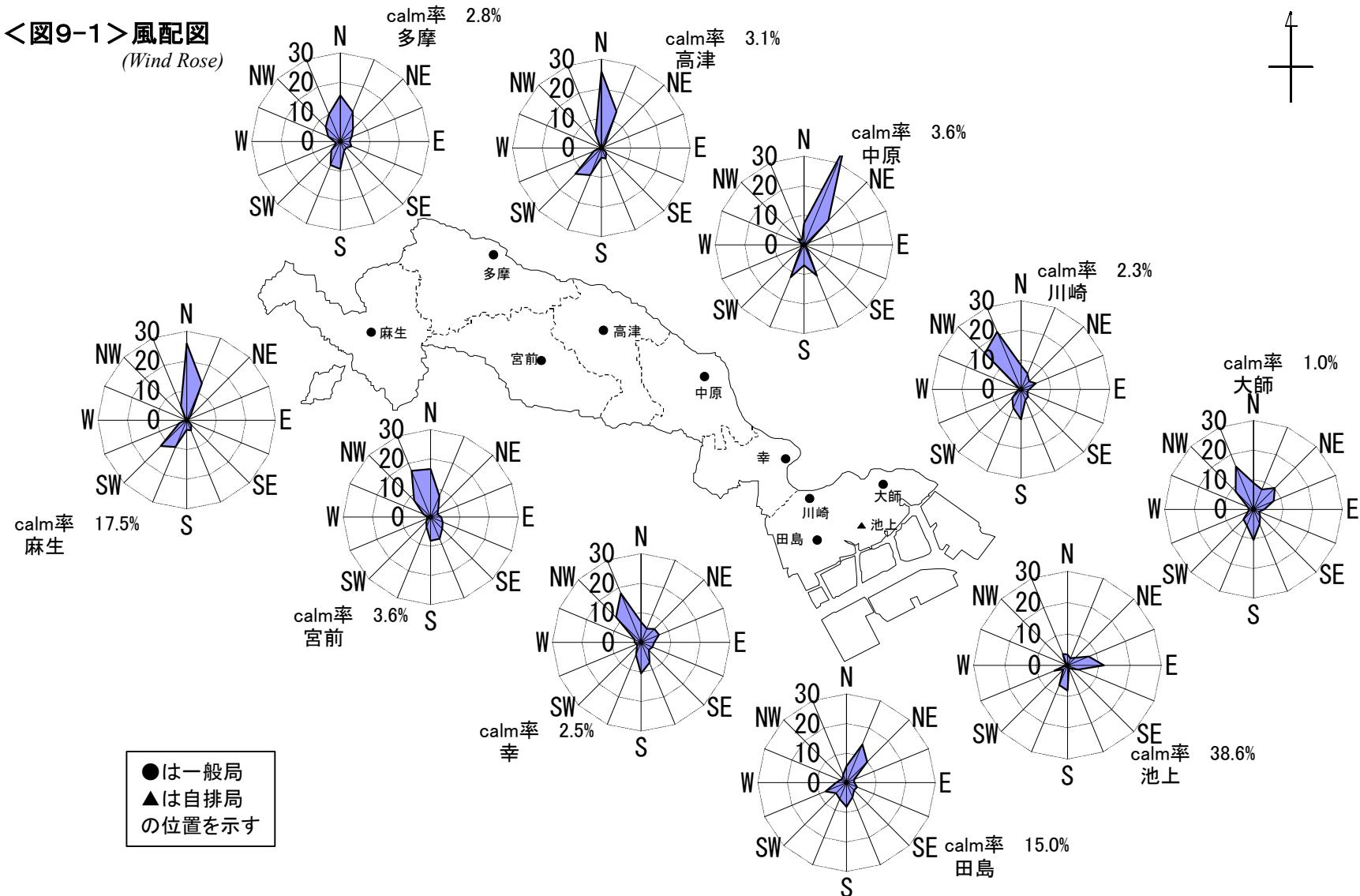
風速の月平均値の推移を図9-2に示す。2019年度の風速は過去10年平均(2009~2018年度)を上回る月が多かった。



風速の月平均値の推移
(Trend of Monthly Average of Wind Speed.)
<図9-2>

<図9-1>風配図
(Wind Rose)

4



(3) 気温 (TEMP : Temperature)

2019年度と過去10年(2009～2018年度)の月平均値の気温推移グラフを図9-3、2019年度の気温の測定結果を表9-1に示す。

2019年度における最高気温は、多摩局で測定された37.2°C(9月9日14時)であった。真夏日(日数)は、田島局の60日が最多であった。

また、最低気温は、麻生局で測定された-2.9°C(2月7日7時)であった。
冬日(日数)は宮前局、多摩局、麻生局でそれぞれ2日が最多であった。

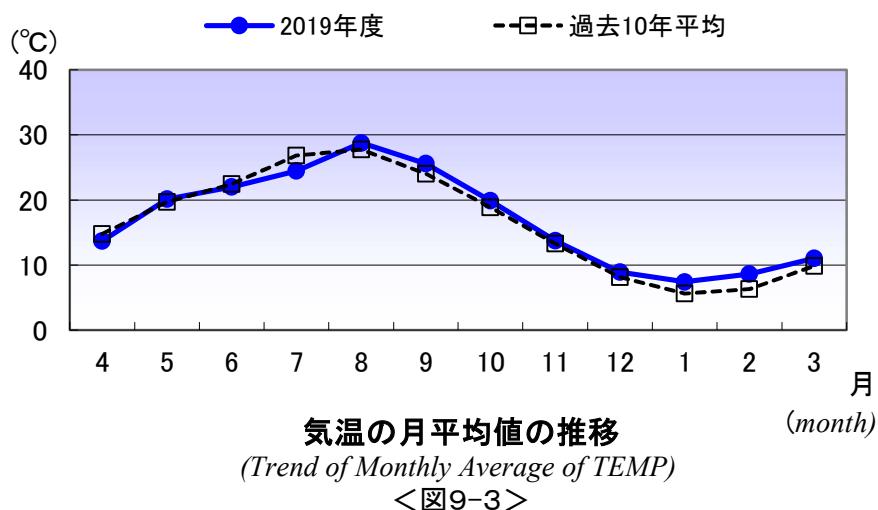


表9-1 気温の測定結果
(Measurement Results of TEMP)

測定局 (Monitoring Station)	大師 (Daishi)	田島 (Tajima)	川崎 (Kawasaki)	幸 (Saiwai)	中原 (Nakahara)	高津 (Takatsu)	宮前 (Miyamae)	多摩 (Tama)	麻生 (Asao)
平均気温(°C) (Average Temperature)	17.4	17.7	16.6	17.2	17.4	17.1	16.9	16.9	16.3
最高気温(°C) (Maximum Temperature)	34.9	36.4	33.7	35.1	36.1	36.4	36.3	37.2	35.1
最低気温(°C) (Minimum Temperature)	-0.2	-0.1	-1.1	-0.7	-0.1	-0.5	-1.4	-2.0	-2.9
真夏日(日数) ^{※1} (Number of Days That Maximum Temperature is above 30 °C)	49	60	34	48	58	54	55	54	44
熱帯夜(日数) ^{※2} (Number of Days That Temperature stays above 25 °C)	41	42	38	41	40	38	34	34	25
冬日(日数) ^{※3} (Number of Days That Minimum Temperature is Less Than 0 °C)	1	1	1	1	1	1	2	2	2

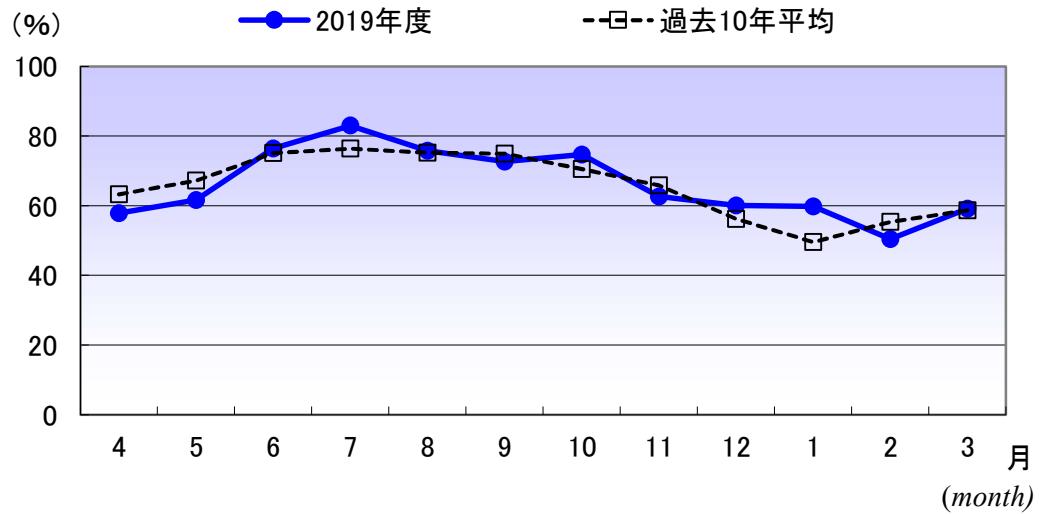
※1 真夏日…日最高気温が30°C以上の日

※2 热帯夜…日最低気温が25°C以上の日

※3 冬日…日最低気温が0°C未満の日

(4)湿度 (HUM: Humidity)

2019年度と過去10年(2009～2018年度)の月平均値の推移グラフを湿度の月平均値の湿度の推移を図9-4に示す。



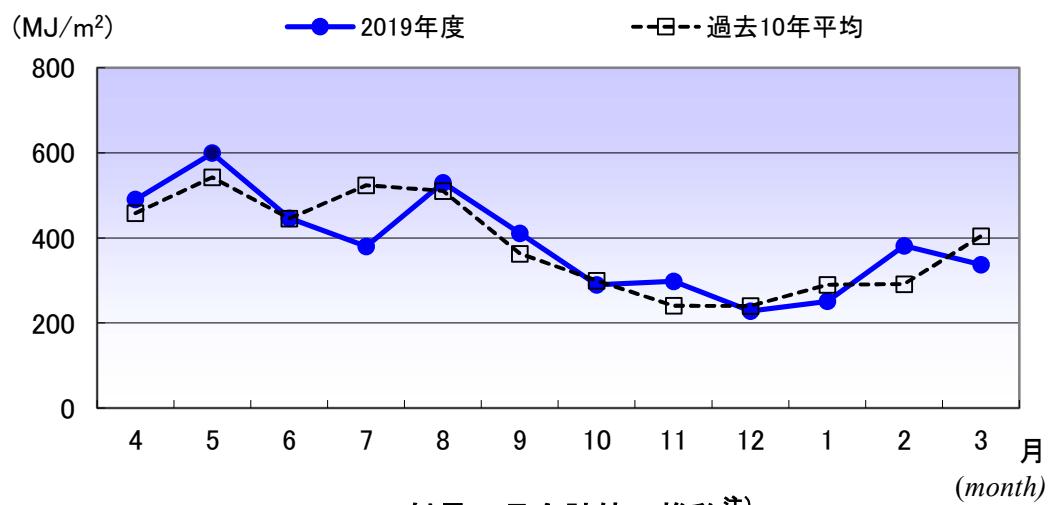
湿度の月平均値の推移
(Trend of Monthly Average HUM)
<図9-4>

(5) 日射量 (Amount of Solar Radiation)

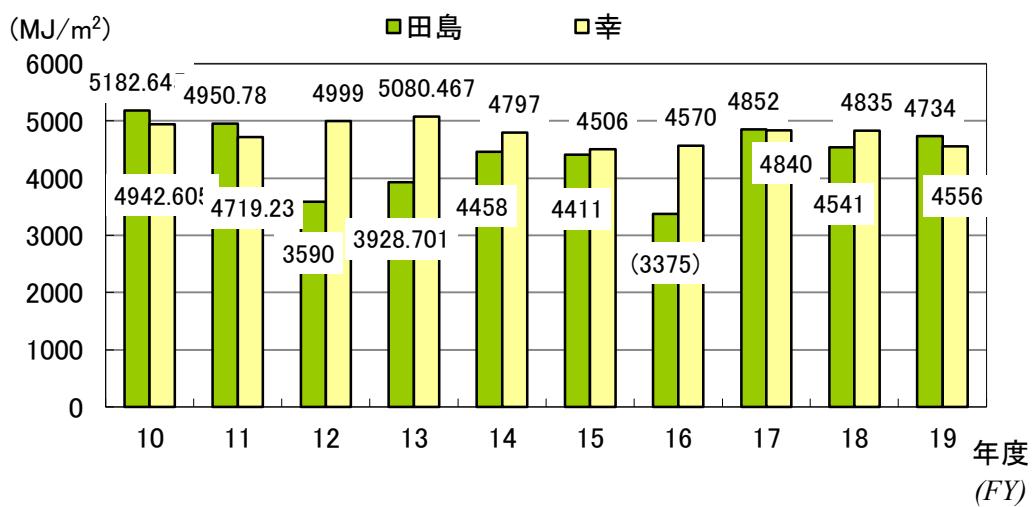
日射量の月合計値の推移を図9-5、年合計値の推移を図9-6に示す。

2019年度は、過去10年平均(2009～2018年度)に比べ、2月が 90MJ/m^2 多く、7月が少なかった。

また、図9-6に示すとおり、日射量の年合計値は田島局が $4,734\text{MJ/m}^2$ 、幸局が $4,556\text{MJ/m}^2$ であった。



日射量の月合計値の推移^{注)}
(Trend of Total Monthly Amount of Solar Radiation)
<図9-5>

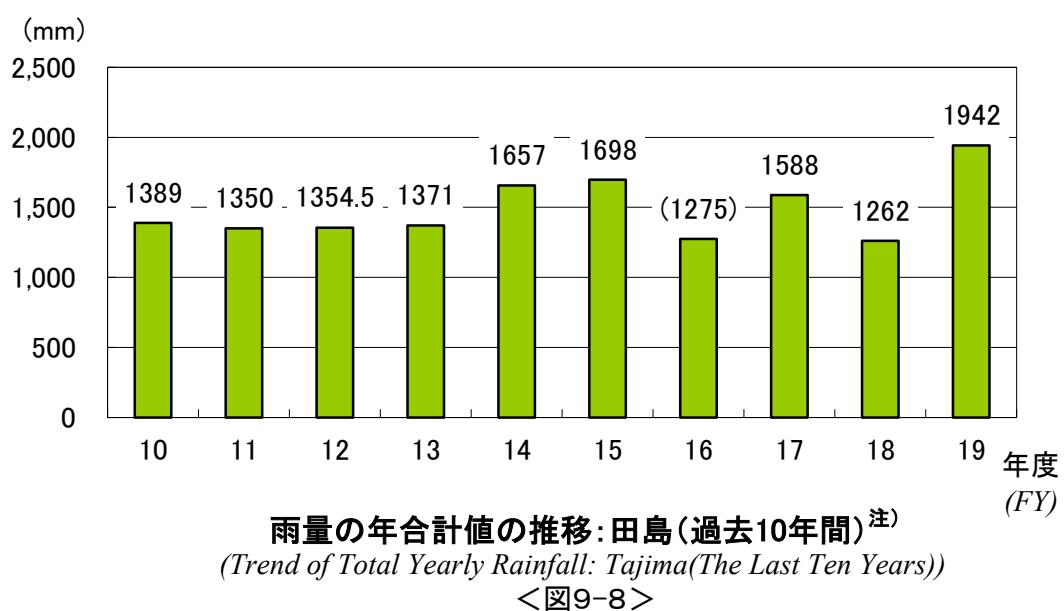
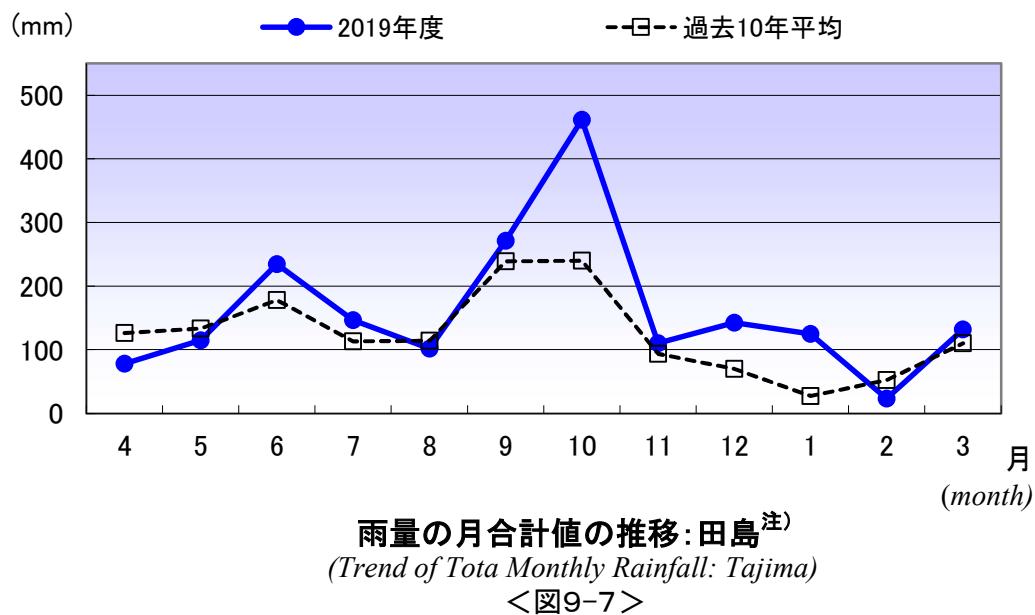


日射量の年合計値の推移(過去10年間)^{注)}
(Trend of Total Yearly Amount of Solar Radiation(The Last Ten Years))
<図9-6>

注) 2016年度田島局は10月～2月まで測定器の点検による欠測があったため参考値

(6) 雨量 (RAIN: Rainfall)

雨量の月合計値の推移を図9-7、年合計値の推移を図9-8に示す。
 2019年度は過去10年平均(2009～2018年度)に比べ、4月は49mm少なかった。
 また6月は57mm、10月は222mm、12月は72mm、1月は97mm多かった。
 図9-8に示すとおり、雨量の年合計値は1,942mmであった。



注) 2016年度は10月～2月まで測定器の点検による欠測があつたため参考値